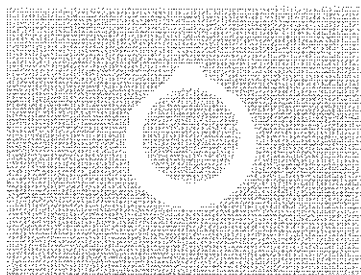


平成23年度

小山町の教育

小山町教育委員会



町章

一般公募により、昭和45年1月1日に制定しました。小山町のイニシャルOを基本にして、その頂点に町のシンボル富士山を配し、図案化したものです。考案者は用沢の山崎先一さんで、富士、箱根、丹沢の連峰に囲まれた緑のオアシスを簡潔に表現し、その中に町民の力強い団結、希望、勇気を表しています。

***** 小山町民憲章 *****

わたくしたちは、富士のもと水と緑にめぐまれていることに誇りをもち、金太郎のように、健康で、明るい、ゆたかな町づくりをすすめます。

1. めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。
1. きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。
1. のびゆく力を育て、文化の薫り高いまちをつくります。
1. 働くことによるこびをもち、健康なまちをつくります。
1. たがいに助け合い、親切で、あたたかいまちをつくります。

町制施行70周年記念にあわせて一般町民に公募、昭和57年12月5日制定。

町の木／ふじざくら

富士山麓に多く自生し、樹高は3～6mの小喬木で、小さな花をつける。花色は淡紅色で、ガクが赤味を帯びている。まめ桜とも呼ばれ、品種は多く葉も小さくて若木でもよく花をつけるので、盆栽に適している。

4月～6月にかけて、葉が伸びる前、一斉に開花する。



町の花／なのはな

10月ごろ、^{たかうね}高畝にした^{たんぼ}田圃に種をまき、富士山の温かく、きれいな伏流水で冬を越し、3～4月に黄色い十字花を咲かす。花はアブラナに似てやや小形である。また開花する前の柔らかい蕾は、茎から摘まれ、塩漬けにして地域の特産物、水掛菜（とう菜）とされ各地に出荷している。

町の鳥／うぐいす

「ホーホケキョ」の鳴き声はだれでも知っている。春を告げる代表的な鳥で梅の木にとまっている姿は昔から絵の題材に。スズメよりやや小さく、体色は地味でオスはメスより大きく、その差が極端。「ケキョ」の部分で富士山を境に西に行けば長く、北に行けば短くなるといわれ、中部地方の鳴き声をもっともよいという。特に須走に多く生息。



目 次

I 小山町の概要

1 位置と地勢	1
2 沿革	1
3 人口・世帯数の推移	2

II 教育行政

1 教育委員会〔歴代教育委員長・教育長・教育委員〕 ..	3
2 教育委員会機構図および事務分掌	5
3 平成23年度基本方針・教育施策	6
4 教育費予算	10
5 民生費予算	13

III 学校教育等

1 学校教育関係主要事業	16
2 保育園関係主要事業	18
3 小・中学校、幼稚園、保育園一覧表	19
4 小山町立学校通学区一覧	21
5 学校の位置と標高	21
6 小・中学校、幼稚園保育園施設の状況	22
7 小学校在籍者数の推移	23
8 中学校在籍者数の推移	23
9 幼稚園在園者数の推移	24
10 保育園在園者数の推移	24
11 教職員の構成	25
12 中学校卒業後の進路	26
13 今後5か年の就学児童推定表	26
14 就学奨励援助	27
15 育英奨学資金	29
16 学校保健	30
17 日本スポーツ振興センター	32
18 学校給食	33

IV 社会教育

1 社会教育委員	34
2 生涯学習	34
3 芸術文化	40
4 文化財保護	41
5 小山町文化財地名表	45
6 図書館	46
7 自主文化関係事業	48
8 社会体育	49
V 小山町教育機関等配置図	52

I 小山町の概要

1 位置と地勢

小山町は、静岡県の中東端(北緯35° 21′ 東経138° 59′)に位置し、東を神奈川県に、北西を山梨県に接している。西端は富士山頂に達し、富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系(三国山1,320m)と北東方は丹沢山地(不老山930m)に東南方は箱根外輪山(金時山1,213m)と足柄山嶺(足柄峠759m)に囲まれ、東西に26.04km、南北に13.33kmと東西に長く延び、面積は136.13km²である。市街地、農耕地は、海拔およそ300～800mの間にわたる緩傾斜地地帯にある。河川は、源を富士・箱根山麓に発する鮎沢川が馬伏川、須川、野沢川を合して東に流れ酒匂川となって相模湾にそそいでいる。気候は、気温の年較差が大きく湿度の高い地形で、冬は寒さが厳しいが、盛夏の朝夕の気温は低く、しのぎ易い。

当地を主要交通幹線道としての東名高速道路、国道246号、国道138号、東富士五湖道路そして県道8路線が走り、JR御殿場線と共に、産業、観光両面に重要な役割を果たしている。

2 沿革

当地は、平安時代後半から戦国時代初期にかけて、御殿場市の鮎沢辺りを中心とする伊勢神宮の荘園、大沼鮎沢御厨の一部であったと言われている。中世には竹之下の合戦が行われ、足柄峠や籠坂峠は交通の要衝となっていたという記録も残っている。江戸時代には、町域の大部分が小田原藩領だった。しかし、宝永4年(1707)の富士噴火により全村幕府領となったものの、その後15か村は小田原藩領に復すこととなった。

明治になり、いく度かの変遷を経て、明治22年町村制の施行により六合村(小山、生土、中島、柳島、湯船、藤曲の各旧村)、菅沼村(旧菅沼村)足柄村(竹之下<所領>、新柴、桑木の各旧村)、北郷村(用沢、棚頭、大御神、中日向、上野、阿多野、吉久保、下古城、大胡田、上古城、下小林、一色、古沢の各旧村)、須走村(旧須走村)の5か村に統合された。

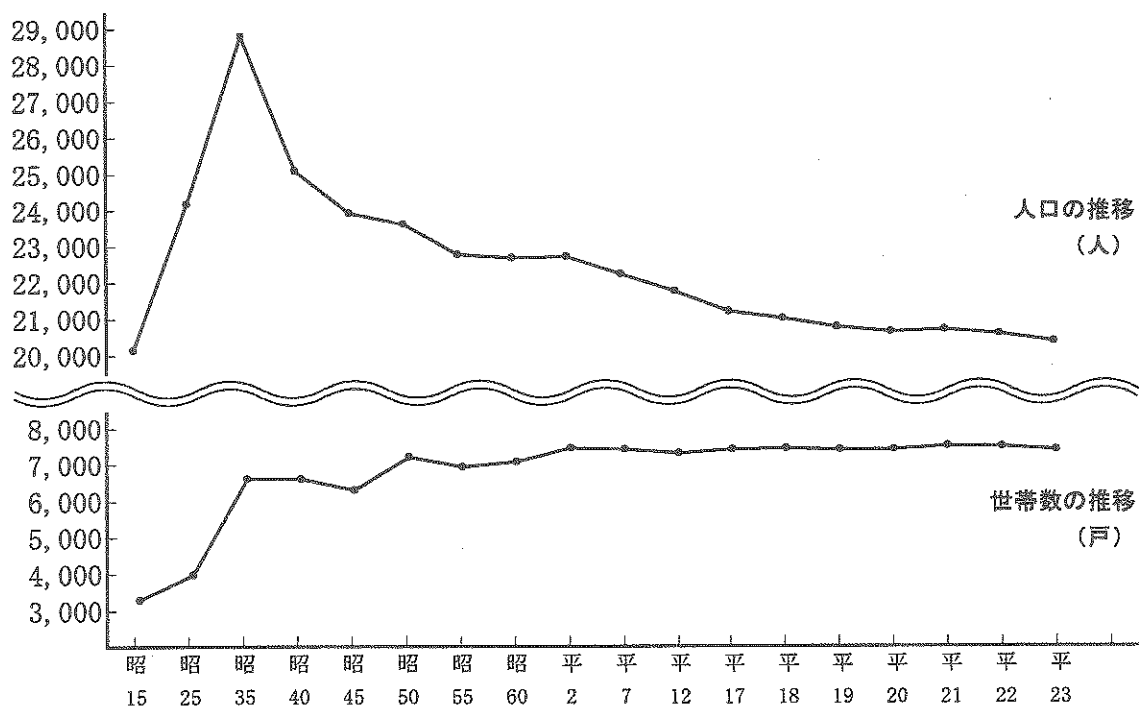
大正元年8月1日に六合村と菅沼村が合併して町制をしき、小山町となった。その後、町村合併促進法施行により、昭和30年4月1日には足柄村が、昭和31年8月1日には北郷村が、昭和31年9月30日には須走村がそれぞれ小山町に合併し、新小山町が誕生、現在の町域に拡大した。

3 人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)

地区 年	小 山		足 柄		北 郷		須 走		計	
	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口
昭和15年	2,345	13,912	277	1,632	649	4,189	92	433	3,363	20,166
25年	2,844	16,803	337	1,961	753	4,922	113	592	4,047	24,278
35年	2,887	15,418	288	1,615	628	3,962	2,869	7,994	6,672	28,989
40年	2,990	14,606	298	1,565	694	3,816	2,691	5,232	6,673	25,219
45年	2,934	13,543	338	1,549	794	3,959	2,300	4,966	6,366	24,017
50年	3,460	12,228	403	1,675	1,179	4,817	2,219	4,976	7,261	23,696
55年	3,080	10,989	399	1,641	1,343	5,437	2,165	4,785	6,987	22,852
60年	3,082	10,789	432	1,676	1,491	5,777	2,120	4,512	7,125	22,754
平成 2年	3,132	10,345	424	1,711	1,553	5,911	2,393	4,823	7,502	22,790
7年	2,945	9,647	473	1,755	1,688	6,104	2,354	4,782	7,460	22,288
12年	2,710	8,799	550	2,006	1,698	6,036	2,396	4,973	7,354	21,814
17年	2,595	8,049	608	2,068	1,745	5,909	2,511	5,225	7,459	21,251
18年	2,591	7,926	618	2,075	1,777	5,909	2,495	5,143	7,481	21,053
19年	2,590	7,858	630	2,113	1,799	5,853	2,426	4,988	7,445	20,812
20年	2,595	7,733	642	2,111	1,797	5,863	2,423	4,970	7,457	20,677
21年	2,576	7,618	652	2,129	1,823	5,893	2,500	5,098	7,551	20,738
22年	2,562	7,529	648	2,119	1,831	5,912	2,493	5,062	7,534	20,622
23年	2,546	7,370	659	2,146	1,839	5,882	2,403	5,005	7,447	20,403

●グラフでみる人口・世帯数の推移



Ⅱ 教育行政

1 教育委員会

〔教育委員および教育長〕

職 名	氏 名	性別	任 期
委 員 長	尾崎 宏也	男	平成26年 9月30日
委 員	米山 珠江	女	平成24年 3月31日
〃	齊藤 広人	男	平成24年 3月31日
〃	吉岡 道隆	男	平成24年11月30日
〃	稲 恵子	女	平成27年 7月 2日
教 育 長	戸枝 浩	男	平成24年11月30日

〔歴代教育委員長・教育長〕

〈教育委員長〉

氏 名	就任年月日	退任年月日
小野 義則	昭和32年 9月 1日	昭和42年 9月30日
稲 鉄房	昭和42年10月13日	昭和46年 4月 9日
米山 孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日
小見山勘一	昭和51年 4月 1日	昭和55年 9月30日
湯山 英夫	昭和55年12月 3日	昭和58年 2月26日
米山 豊彦	昭和58年 7月 4日	平成 4年 3月31日
野木 美佑	平成 4年 4月 1日	平成 8年 6月30日
喜多 淳隆	平成 8年 7月 2日	平成12年11月30日
横山 明夫	平成12年12月 1日	平成14年 9月30日
米山 彰	平成14年10月 1日	平成18年 7月 7日
関 隆秀	平成18年 8月11日	平成19年 7月 2日
山本みどり	平成19年 7月 4日	平成20年11月30日
尾崎 宏也	平成20年12月 1日	現 在

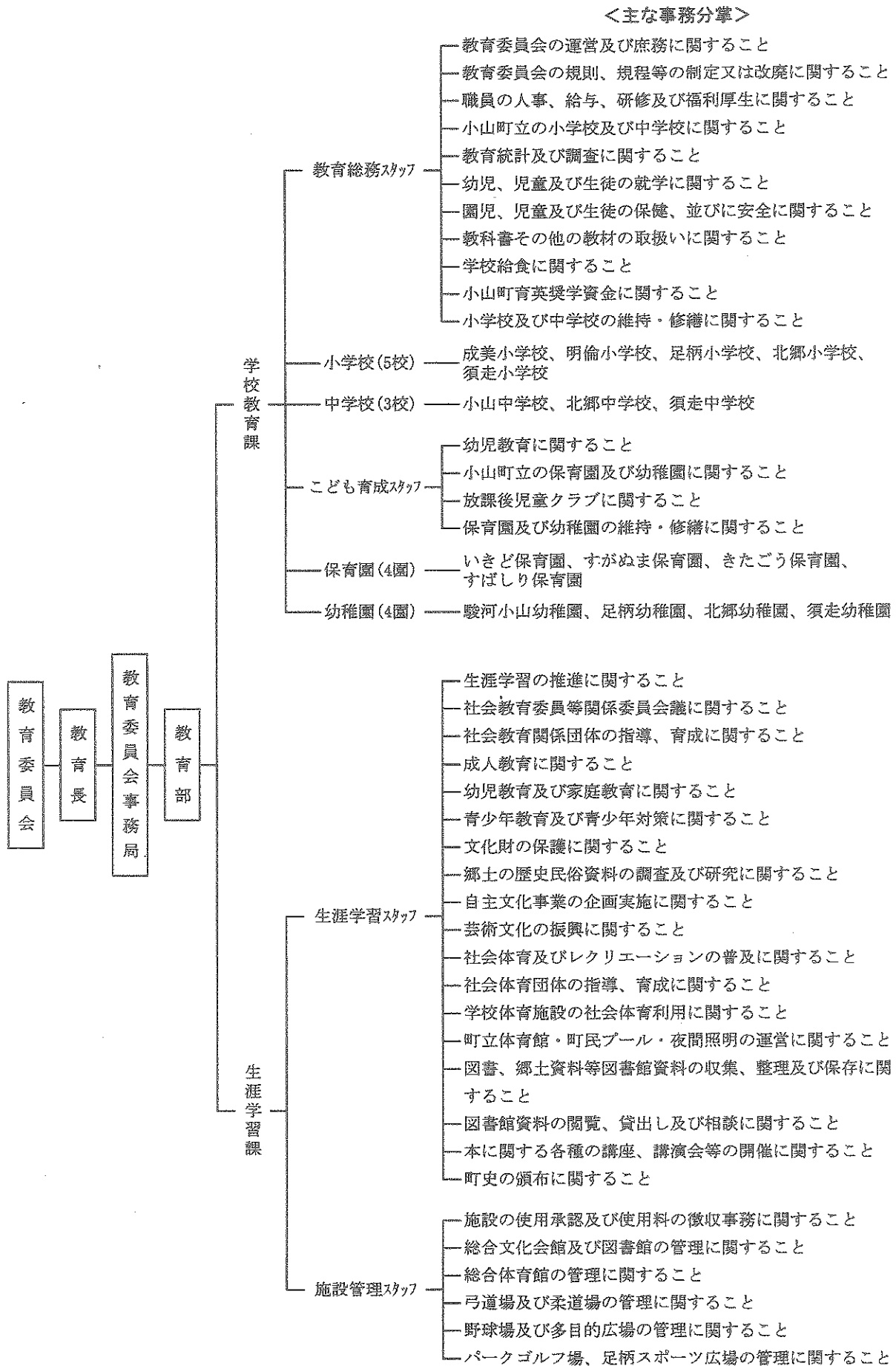
〈教 育 長〉

氏 名	就任年月日	退任年月日
尾崎 幸雄	昭和33年10月 1日	昭和49年 3月 9日
池谷 典男	昭和49年 4月17日	昭和53年 3月22日
渡辺 諄一	昭和53年 4月20日	昭和54年 9月30日
	昭和54年12月12日	昭和55年 9月30日
天野 隆	昭和55年12月10日	昭和63年11月30日
稲 鈺泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
嶋田 實雄	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 1日
岩田 正憲	平成 9年 4月21日	平成16年11月30日
池谷 俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
戸枝 浩	平成20年12月 1日	現 在

〔歴代教育委員〕

氏 名	就任年月日	退任年月日	氏 名	就任年月日	退任年月日
永原 正雄	昭和31年10月 1日	昭和32年 7月20日	藤曲 秀夫	昭和61年10月 1日	昭和62年 7月11日
小見山閨一	昭和31年10月 1日	昭和32年 9月30日	岩田喜久治	昭和62年 7月16日	平成 2年 9月30日
芹澤 寛哉	昭和31年10月 1日	昭和35年 9月30日	稲 鈍泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
小野 義則	昭和31年10月 1日	昭和42年 9月30日	喜多 淳隆	昭和63年12月 1日	平成12年11月30日
湯山 松興	昭和31年10月 1日	昭和49年12月17日	福山 宗順	平成 2年10月 1日	平成 6年 9月30日
長田 富雄	昭和32年 8月30日	昭和35年 9月30日	嶋田 實雄	平成 4年 4月 1日	平成 9年 4月 1日
尾崎 幸雄	昭和32年12月24日	昭和49年 3月 9日	田代 六男	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 7日
小見山権十	昭和35年10月14日	昭和39年 9月30日	横山 明夫	平成 6年10月 1日	平成14年 9月30日
田代 和男	昭和35年10月14日	昭和43年 9月30日	末光 愛正	平成 8年 7月 1日	平成11年 7月 2日
稲 鉄房	昭和39年10月 1日	昭和46年 4月 9日	米山 元	平成 9年 4月15日	平成11年 4月 9日
高村 一男	昭和42年12月15日	昭和46年 4月 9日	岩田 正憲	平成 9年 4月15日	平成16年11月30日
池谷 二市	昭和43年10月 3日	昭和47年10月 2日	米山 彰	平成11年 5月18日	平成18年 7月 7日
米山 孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日	関 隆秀	平成11年 7月 3日	平成19年 7月 2日
小見山勘一	昭和46年 6月15日	昭和54年 9月30日	山本みどり	平成12年12月 1日	平成20年11月30日
鈴木 繁	昭和47年10月 3日	昭和50年 8月19日	池谷 俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
池谷 典男	昭和49年 3月23日	昭和53年 3月22日	鈴木 俊一	平成19年 7月 3日	平成23年 7月 2日
湯山 英夫	昭和50年 4月 1日	昭和58年 2月26日	尾崎 宏也	平成14年10月 1日	現 在
渡辺 諄一	昭和50年10月 9日	昭和54年 9月30日	米山 珠江	平成18年 8月11日	現 在
	昭和54年11月22日	昭和55年 9月30日	齊藤 広人	平成20年 4月 1日	現 在
米山 豊彦	昭和51年 4月 1日	平成 4年 3月31日	吉岡 道隆	平成20年12月 1日	現 在
岩田 章	昭和53年 7月26日	昭和61年 7月25日	稲 恵子	平成23年 7月 3日	現 在
岩田 亮一	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日	戸枝 浩	平成20年12月 1日	現 在
天野 隆	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日			
野木 美佑	昭和58年 7月 2日	平成 8年 6月30日			

2 教育委員会機構図および事務分掌



3 平成23年度基本方針・教育施策

(1) 基本方針

近年、全世界においては国際化・高度技術化が、国内においては少子高齢化、価値観の多様化が、加速度的に進展しています。このような変化の激しい21世紀の世界を生きていく子どもたちには、あふれる情報を取捨選択し、幅広い知識と柔軟な思考に基づき的確な判断をする力（知育）、他者を尊重し周囲との適切な人間関係を結びながら自己実現を求めていく力（徳育）、心身ともに健康に生涯を生き抜く力（体育）が求められます。

子どもをとりまくこのような状況の中、国においては平成18年に教育基本法が改正され小学校では平成23年度、中学校では平成24年度から実施される新学習指導要領の教育理念として「生きる力」を育むことが引き続き明示されました。県においては平成23年3月「静岡県教育基本振興計画」が策定され「『有徳の人』の育成」が示されています。

小山町では、「第4次小山町総合計画2011～2020」において、「自主自立」「健体康心」「協働・共創」の基本理念と、将来像「富士をのぞむ活気あふれる交流のまち おやま」が示され、目標を立て問題解決に向けて行動していく人（自主自立）、健やかな心身を持ち生き方や毎日が明るく楽しい人（健体康心）、小山町に住むことに誇りを感じ喜びをわかちあえる人（協働・共創）の育成をめざしています。

小山町教育委員会では、このような状況と現状を踏まえながら、各市町教育委員会や関係機関と連携し、将来像「富士をのぞむ活気あふれる交流のまち おやま」にむけて、教育に関わる環境づくりや体制づくりについて以下の取組みを中心に推進していきます。

① 心豊かな生涯学習の推進

・生涯学習の推進 ・図書館サービス事業の充実 ・人材の活用、育成 など

② 地域文化の振興と青少年の育成

・地域文化活動の推進 ・家庭、地域社会における青少年の育成 など

③ スポーツ・レクリエーションの活動の振興

・指導者、団体の育成 ・スポーツ、レクリエーションの推進 など

④ 生きる力を育む学校教育の充実

・確かな知性を身につける学校教育 ・豊かな感性と健やかな心身を育む教育

・安心な教育施設の整備 など

⑤ 国際交流の推進

・国際理解教育の推進 ・ALT配置事業の実施 など

⑥ 子育て支援の充実

・子育てしやすい環境の整備 ・子育て相談体制の充実 など

小山町総合計画（2011～2020）

富士をのぞむ 活気あふれる 交流のまち おやま
【基本理念】 自主自立 健康心 協働・共創

【基本目標】

- 1 便利で快適なまち
- 2 安心・安全なまち
- 3 いきいきとしたまち
- 4 計画の推進のために

小山町教育委員会の教育方針

知

自主自立

徳

協働・共創

体

健康心

心豊かな生涯学習の推進

- 生涯学習の推進
 - ・生涯学習推進大会の開催・生涯学習フェスティバルの開催など
- 学習機会の提供
 - ・自主文化事業の実施・各種講座、教室の実施など
- 図書館サービス機能の充実
 - ・ブックスタートの充実・図書館ボランティアによる読書活動の実施・夜間延長開館の実施など
- 人材の活用・育成
 - ・ボランティアバンクの推進など
- 生涯学習環境の整備
 - ・文化会館、体育館のリニューアル調査の実施など
- 情報提供と町民ニーズの反映
 - ・情報誌の発行など

国際交流の推進

- 国際理解の推進
 - ・ALT派遣事業の実施など

静岡県教育振興基本計画（2011～2020）

「有徳の人」づくりアクションプラン

【基本目標】

「有徳の人」の育成～縦の接続と横の連携で育む～

【基本計画】

- 1 生涯学習社会の形成
- 2 ライフステージの円滑な接続による人づくりの推進
- 3 社会総がかりで取り組む人づくりの推進
- 4 生きがいや潤いをもたらす文化・スポーツの振興
- 5 現代の重要課題に対応した教育の推進

生きる力を育む学校教育の充実

- 確かな知性をもつ教育の推進
 - ・少人数、IT授業の実施・低学年支援員、特別支援員の配置
 - ・特別支援教育の充実・子ども相談員による巡回相談の実施・人権教育の推進
 - ・授業アドバイザーの配置・学校図書館充実のための支援員の配置など
- 豊かな感性と健やかな心身を育む教育の推進
 - ・心の教育の推進・食育の推進・生徒指導連絡会の充実
 - ・安全でおいしい学校給食の実施など
- 家庭教育・幼児教育の推進
 - ・わくわくランド、ペンギンランドの充実・子ども相談員による巡回相談の実施など
- 情報のある安心な学びの場の整備の推進
 - ・小中学校耐震化事業の実施・教材備品、図書館の整備・情報教育の充実
 - ・遊具、体育器具の安全点検の実施・開かれた学校づくりの推進
 - ・育英奨学制度の周知など

スポーツ・レクリエーションの活動の振興

- 指導者・団体の育成
 - ・体育指導委員活動の推進・少年スポーツ指導者育成講習会の開催など
- スポーツ・レクリエーションの推進
 - ・町民スポーツ祭などの各種大会の開催・総合型スポーツクラブの支援
 - ・レクリエーションスポーツ祭の開催など
- 情報提供の推進

子育て支援の充実

- 子育てしやすい環境の形成
 - ・幼保一元（一）体化事業の実施・「特機児童なし」の継続実施
 - ・ファミリーサポート事業の実施・子育て支援センターの充実
 - ・保育園舎の耐震化、リニューアル事業の実施など
- DV・児童虐待防止の啓発や働きかけ・相談体制の強化
 - ・関係機関との相談体制の強化

(2) 主な教育施策

① 心豊かな生涯学習の推進

○生涯学習の推進

- ・生涯学習推進委員大会、講演会の開催
- ・生涯学習フェスティバルの開催

○学習機会の提供

- ・自主文化事業の実施
- ・各種講座、教室の開催

○図書館サービス機能の充実

- ・図書館ボランティアによる読書活動の実施
- ・夜間延長開館の実施
- ・ブックスタートの充実

○人材の活用・育成

- ・ボランティアバンクの推進
- ・生涯学習指導者による各種教室の開催

○生涯学習環境の整備

- ・文化会館、総合体育館のリニューアル調査の実施

○情報提供と町民ニーズの反映

- ・情報誌の発行

② 地域文化の振興と青少年の育成

○地域文化活動の推進

- ・町民文化祭の開催
- ・文芸誌の発刊

○郷土資源・文化財の活用

- ・文化財の活用普及
- ・古文書解読育成事業の実施

○家庭・地域社会における青少年の育成

- ・子ども会、青年団活動への援助
- ・青少年活動指導者リーダーの育成
- ・成人式の実施

③ スポーツ・レクリエーションの活動の振興

○指導者・団体の育成

- ・体育指導委員活動の推進
- ・少年スポーツ指導者育成講習会の開催

○スポーツ・レクリエーションの推進

- ・町民スポーツ祭等各種スポーツ大会の開催
- ・総合型地域スポーツクラブの支援
- ・レクリエーションスポーツ祭の開催

④ 生きる力を育む学校教育の充実

○確かな力を育む学校教育の充実

- ・少人数・TT授業の実施
- ・低学年支援員、特別支援員の配置
- ・特別支援教育の充実
- ・子ども相談員による巡回相談の実施

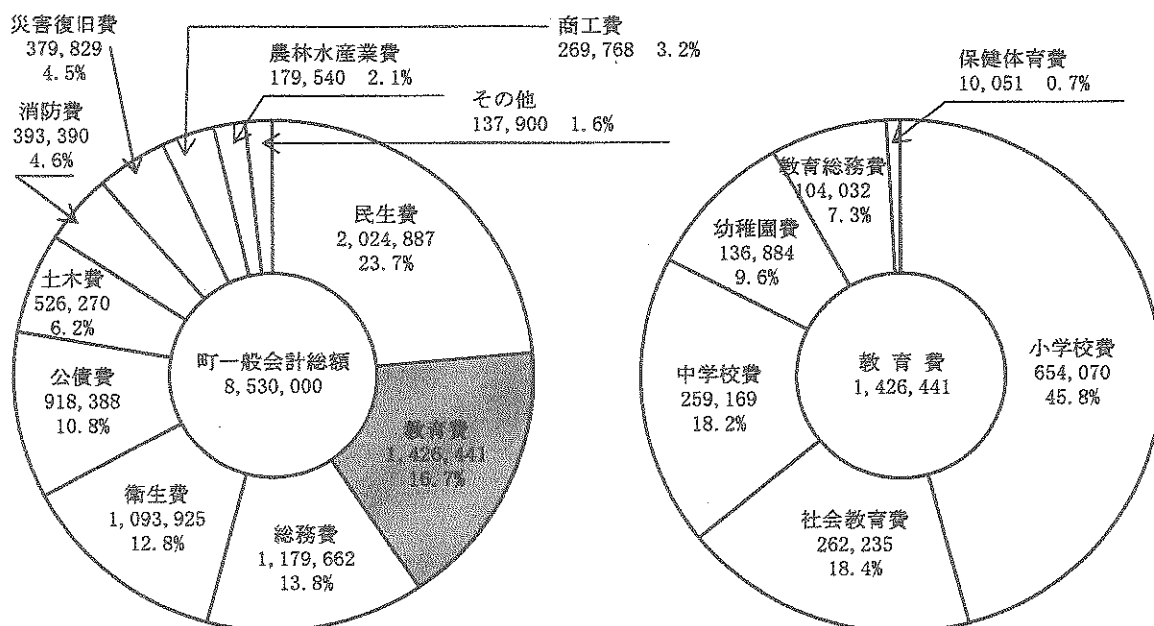
- ・授業アドバイザーの配置
- ・人権教育の推進
- ・学校図書館の充実のための支援員の配置
- 豊かな感性と健やかな心身を育む教育の推進
 - ・道徳の時間を中心にした心の教育の推進
 - ・食育の推進
 - ・安全でおいしい学校給食の実施
 - ・生徒指導連絡会の充実
- 家庭教育・幼児教育の推進
 - ・わくわくランド、ぺんぎんランドの充実
 - ・子ども相談員による巡回相談の実施
- 信頼のある安心な学びの場の整備の推進
 - ・小中学校耐震事業の実施
 - ・教材備品、図書の整備
 - ・遊具、体育器具の安全点検
 - ・情報教育の充実
 - ・開かれた学校づくりの推進
 - ・育英奨学制度の周知
- ⑤ 地域間交流・国際交流の推進
 - 国際理解の推進
 - ・ALT配置事業の実施
- ⑥ 子育て支援の充実
 - 子育てしやすい環境の整備
 - ・幼保一元化（一体化）事業の実施
 - ・「待機児童なし」の継続実施
 - ・ファミリーサポート事業の推進
 - ・保育園舎の耐震化及びリニューアル事業の実施
 - ・放課後児童クラブの充実
 - DV・児童虐待防止の啓発や働きかけ・相談体制の強化
 - ・関係機関との相談体制の強化

4 教育費予算

平成23年度教育費予算(当初予算)は、14億2,644万1千円で、前年度に比べ8,371万6千円の減額(前年度比94.4%)となり、町一般会計予算85億3千万円の16.7%(前年度16.9%)となっている。主な減額の要因は、小山中学校の新(中)校舎の工事完了によるものである。

(1) 一般会計歳出予算と教育費予算

(単位：千円)



(2) 教育費予算の推移 (当初予算額)

(単位：千円)

年 度	町一般会計予算総額	教育費総額	町予算に対する割合
平成7年度	9,011,000	1,255,345	13.9%
平成12年度	8,088,000	1,104,661	13.7%
平成13年度	8,372,000	1,239,127	14.8%
平成14年度	8,760,000	976,372	11.1%
平成15年度	8,120,000	969,023	11.9%
平成16年度	8,950,000	1,397,389	15.6%
平成17年度	8,445,000	1,854,690	22.0%
平成18年度	7,890,000	1,153,567	14.6%
平成19年度	8,280,000	1,269,143	15.3%
平成20年度	8,795,000	871,882	9.9%
平成21年度	9,416,000	1,287,440	13.7%
平成22年度	8,910,000	1,510,157	16.9%
平成23年度	8,530,000	1,426,441	16.7%

(3) 平成23年度教育費予算の内訳

(単位：千円)

	23年度 予 算	22年度 予 算	比 較	特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
9. 教育費	1,426,441	1,510,157	△83,716	145,953	12,600	523,014	744,874
1. 教育総務費	104,032	105,578	△1,546	1,607			102,425
1. 教育委員会費	1,550	1,595	△45				1,550
2. 事務局費	102,482	103,983	△1,501	1,607			100,875
2. 小学校費	654,070	180,879	473,191	73,967	0	416,390	163,713
1. 学校管理費	643,985	168,459	475,526	73,770		416,390	153,825
2. 教育振興費	10,085	12,420	△2,335	197			9,888
3. 中学校費	259,169	796,289	△537,120	48,982	12,600	50,836	146,751
1. 学校管理費	96,372	188,737	△92,365	3,362		836	92,174
2. 教育振興費	12,400	13,720	△1,320	500			11,900
3. 小山中学校改築事業費	150,397	593,832	△443,435	45,120	12,600	50,000	42,677
4. 幼稚園費	136,884	162,267	△25,383	0	0	23,704	113,180
1. 幼稚園費	136,884	162,267	△25,383			23,704	113,180
5. 社会教育費	262,235	244,641	17,594	18,298		31,342	212,595
1. 社会教育総務費	81,158	78,426	2,732	18,298		906	61,954
2. 生涯学習推進費	2,984	3,613	△629				2,984
3. 社会教育施設費	0	4,109	△4,109				0
4. 図書館費	22,480	21,610	870			65	22,415
5. 生涯学習センター管理費	143,414	114,766	28,648			21,862	121,552
6. 自主文化事業費	12,199	22,117	△9,918			8,509	3,690
6. 保健体育費	10,051	20,503	△10,452	3,099		742	6,210
1. 保健体育総務費	10,051	8,208	1,843	3,099		742	6,210
2. 体育施設費	0	12,295	△12,295				0

① 人口1人当たりの教育費

(単位：円・人)

年度 区分	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)
教 育 費	890,895,732	1,345,054,490	1,525,673,423	1,426,441,000
人 口 (年 度 末)	20,738	20,622	20,403	(年度当初) 20,403
1 人 当 り の 教 育 費	42,960	65,224	74,777	69,913

② 児童1人当たりの小学校費

(単位：円・人)

年度 区分	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)
小 学 校 費	170,625,093	322,644,628	198,516,873	654,070,000
児童数(5月1日現在)	1,232	1,223	1,163	1,112
1 人 当 り の 小 学 校 費	138,494	263,814	170,694	588,192

③ 生徒1人当たりの中学校費

(単位：円・人)

年度 区分	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)
中 学 校 費	196,830,385	435,777,564	798,247,465	259,169,000
生徒数(5月1日現在)	608	611	590	594
1 人 当 り の 中 学 校 費	323,734	713,220	1,352,962	436,311

④ 園児1人当たりの幼稚園費

(単位：円・人)

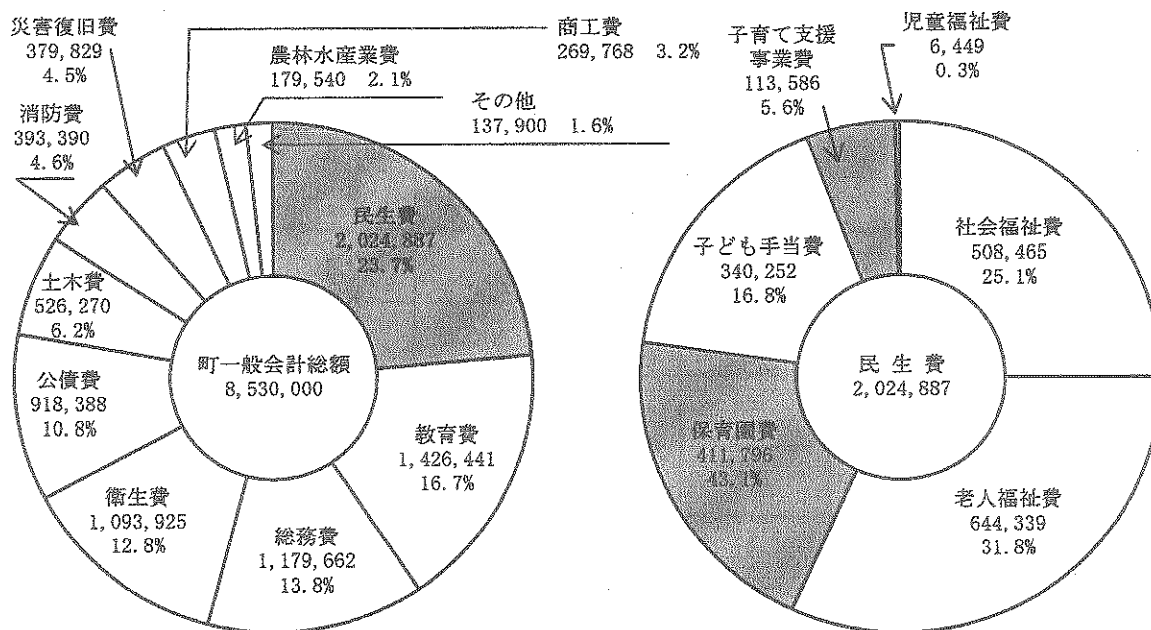
年度 区分	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)
幼 稚 園 費	151,184,644	199,317,541	150,128,974	136,884,000
園児数(5月1日現在)	301	311	305	322
1 人 当 り の 幼 稚 園 費	502,275	640,892	492,226	425,106

5 民生費予算

平成23年度児童福祉総務費(当初予算)は、8億7,208万3千円で、前年度に比べ1,837万2千円の増額(前年度比102.2%)となり、そのうち、保育園費41,179万6千円、子育て支援事業費11,358万6千円で民生費予算202,488万7千円の23.7%(前年度21.9%)となっている。主な増額の要因は、いきど保育園・すがぬま保育園のリニューアル改修工事によるものである。

(1) 一般会計歳出予算と教育費予算

(単位：千円)



(2) 民生費予算の推移 (当初予算額)

(単位：千円)

年 度	町一般会計予算総額	民 生 費 総 額	町予算に対する割合
平成 7 年度	9,011,000	978,298	10.9%
平成 12 年度	8,088,000	1,169,075	14.5%
平成 13 年度	8,372,000	1,185,454	14.2%
平成 14 年度	8,760,000	1,235,100	14.1%
平成 15 年度	8,120,000	1,383,125	17.0%
平成 16 年度	8,950,000	1,426,071	15.9%
平成 17 年度	8,445,000	1,423,408	16.9%
平成 18 年度	7,890,000	1,477,147	18.7%
平成 19 年度	8,280,000	1,523,442	18.4%
平成 20 年度	8,795,000	1,580,681	18.0%
平成 21 年度	9,416,000	1,597,313	17.0%
平成 22 年度	8,910,000	1,949,769	21.9%
平成 23 年度	8,530,000	2,024,887	23.7%

(3) 平成23年度民生費予算の内訳

(単位：千円)

	23年度 予 算	22年度 予 算	比 較	特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
3. 民生費	2,024,887	1,949,769	75,118	727,565	15,000	183,696	1,098,626
1. 社会福祉費	508,465	460,314	48,151	224,176	0	6,047	278,242
1. 社会福祉総務費	90,760	102,537	△11,777	452		10	90,298
2. 障害者福祉費	292,923	224,010	68,913	189,378		3,748	99,797
3. 健康福祉会館管理費	32,725	54,250	△21,525			2,289	30,436
4. 国民健康保険費	85,749	75,000	10,749	28,733			57,016
5. 国民年金事務取扱費	6,308	4,517	1,791	5,613			695
2. 老人福祉費	644,339	635,744	8,595	96,845	0	60,761	486,733
1. 老人福祉総務費	229,352	241,402	△12,050	80,629		51,355	97,368
2. 介護保険費	198,256	193,453	4,803				198,256
3. 後期高齢者医療費	216,731	200,889	15,842	16,216		9,406	191,109
3. 児童福祉費	872,083	853,711	18,372	406,544	15,000	116,888	333,651
1. 児童福祉総務費	6,449	5,059	1,390	1,738			4,711
2. 子ども手当費	340,252	439,185	△98,933	304,214			36,038
3. 保育園費	411,796	314,011	97,785	63,464	15,000	95,532	237,800
4. 子育て支援事業費	113,586	95,456	18,130	37,128		21,356	55,102

① 人口1人当たりの民生費

(単位：円・人)

年度 区分	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)
民 生 費	1,560,249,162	1,635,475,991	2,025,601,647	2,024,887,000
人 口 (年 度 末)	20,738	20,622	20,403	(年度当初) 20,403
1人当たりの民生費	75,236	79,307	99,280	99,245

② 児童1人当たりの保育園費

(単位：円・人)

年度 区分	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)
保 育 園 費	328,677,499	353,457,741	310,447,333	411,796,000
園児数(4月1日現在)	307	333	325	348
1人当たりの保育園費	1,070,611	1,061,435	955,223	1,183,322

Ⅲ 学校教育等

1 学校教育関係主要事業

(1) 研究、研修の推進

- ・ 校長及び教頭研修
学校経営、教員研修、生徒指導他当面の問題等
- ・ 生徒指導主任研修の実施と生徒指導の充実
「いじめ」の防止、不登校児童生徒への対応、問題行動への対応、生徒理解等
- ・ 町指定研究校
成美小学校
小山中学校
- ・ 新任教職員研修会実施

(2) 校内研修の推進

- ・ 自己の課題に沿って研修、研究を進める。
- ・ 教育協会研究発表会に参加し、意欲的に日々の指導実践に活かす。

各校の研修主題(テーマ)

- ・ 成美小学校 「かかわりあって学ぶ子」
- ・ 明倫小学校 「自分の気持ちや考えを表現できる子」
- ・ 足柄小学校 「思いや考えをつなげて学び合える子の育成」
～みんなで伝え、考え、解決する子～
- ・ 北郷小学校 「自らが感じ、考えたことを表現し合う子の育成」
- ・ 須走小学校 「子どもが本気になって取り組む授業をめざして」
- ・ 小山中学校 「自分のよさを知り、仲間とともに伸びようとする生徒の育成」
～関わり合い認め合う活動を通して、誇らしい自己と共感的な人間関係を育てる～
- ・ 北郷中学校 「かかわりの中で課題を追究し、伝え合い響き合う生徒の育成」
～活動的で協同的な学習活動を通して～
- ・ 須走中学校 「自分の考えをわかりやすく伝え合う生徒の育成」
～学びを実感する生徒を求めて～

(3) 幼稚園研修の推進

小幼研研修テーマ

「生きる力を育む保育の創造」

各園の研修テーマ

・駿河小山幼稚園

「友達といっしょに遊べる子をめざして」

～共に育ち合う園・家庭・地域の連携をとおして～

・足柄幼稚園

「やってみたいと心を動かす保育を目指して」

・北郷幼稚園

「幼児一人一人の発達に即した環境を考える」

・須走幼稚園

「今日から明日へつながる保育をめざして」

(4) 教職員教育論文の奨励

・町教育委員会 平成24年1月6日提出期限

(5) 健康教育

- ・学校保健安全委員会の活動と健康教育の充実
- ・校内体力テストの実施
- ・御殿場小山陸上競技記録会への参加
- ・「のびゆく子ども」の編集刊行

(6) 思いやり豊かな心を育てる

- ・三世代主張大会 町老人クラブ連合会主催支援 平成23年10月13日(水)
- ・サマーショートボランティア活動計画
静岡県ボランティア協会主催・町社会福祉協議会共催 夏休み期間中
- ・老人福祉施設等訪問交流
- ・地域美化活動への参加

(7) 適正な就学指導と理解啓発

町就学指導委員会:定例会を年2回実施のほか、随時相談活動を進める。

(8) 小学校・中学校・幼稚園の教育環境の整備充実

- ・小山中学校南校舎耐震改修事業
- ・小山中学校屋内体育施設リニューアル事業
- ・須走小学校屋内体育施設建設事業
- ・北郷中学校外構工事
- ・各小・中学校・幼稚園の施設および備品等の整備

2 保育園関係主要事業

(1) 小山町立保育園の保育理念と保育方針

保育理念「よりよい環境の中で存分に活動させ、望ましい未来をつくりだす力の基礎を培うことに努める。」

保育方針「自主性、豊かな感性、健やかな心身を持った子どもを育成する。」

(2) 各保育園のめあて

- ・いきど保育園：心も体も輝く子

安定した環境の中で、自己啓発しながら自発的に遊びを展開したり、人や自然事象とのかかわりを通して心豊かな子を育てる。

- ・すがぬま保育園：のびのび遊ぶ元気な子

さまざまな体験を通して、のびのびと活動し、豊かな心を育てる。

- ・きたごう保育園：自然の中でのびのびと遊ぶ子

生き生きとたのしく、意欲的に考え活動する子。

- ・すばしり保育園：富士のもと心豊かなたくましい子

豊かな自然の中で、元気よく遊び、何事にも意欲を持ち自主的に活動する。

(3) 保育士研修計画

- | | | |
|-----------|----------|-------------------|
| ○初任保育士研修会 | ○食育研修会 | ○歳児別保育士研修会 |
| ○リーダーセミナー | ○保育の会研修会 | ○保育の日研修会 |
| ○リズム研修 | ○施設長研修会 | ○気になる子の保育についての研修会 |

3 小・中学校、幼稚園、保育園一覧表

(1) 小学校

(平成23年5月1日現在)

学校名	創立年月	所在地	電 話 FAX	校長名 教頭名	学級 数	児童数			学 年 別 児 童 数					
						男	女	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年
成美小学校	明7.3	藤曲150	76-0063 76-0876	室伏 義久 古谷 永子	6	90	78	168	26	29	32	26	19	36
明倫小学校	明43.11	菅沼627	76-0064 76-0051	中山 正之 岩澤 千代美	(2) 8	(5) 96	(2) 67	(7) 163		(1) 31	(1) 23	(2) 28	(3) 36	(3) 20
足柄小学校	明42.12	竹之下2411-1	76-0596 76-0327	芹澤 文夫 橋本 玲子	6	45	68	113	13	19	17	15	25	24
北郷小学校	明14.10	用沢604-1	78-0520 78-0500	鈴木 幸 長田 武雄	(1) 11		(1) 137	(1) 164					(1) 41	(1) 58
須走小学校	明7.5	須走70-18	75-2730 75-2729	阿部 克彦 小山 志保	(1) 13	(1) 191	(2) 176	(3) 367	(2) 63			(1) 65		47
合 計					(4) 44	(6) 559	(5) 553	(11) 1,112	(2) 171	(1) 191	(1) 181	(3) 202	(4) 182	

()は特別支援学級・児童数、内数

(2) 中学校

(平成23年5月1日現在)

学校名	創立年月	所在地	電 話 FAX	校長名 教頭名	学級 数	生徒数			学年別生徒数		
						男	女	計	1年	2年	3年
小山中学校	昭22.4	藤曲142	76-0154 76-0308	山口 和男 朝妻 正昭	(2) 11	(3) 149	(2) 136	(5) 285	(1) 90	(3) 103	(1) 92
北郷中学校	昭22.4	用沢355	78-0514 78-0585	鳥沢 孝之 中村 康雄	(1) 7	(1) 86	(1) 90	(2) 176	(1) 60		(1) 64
須走中学校	昭22.4	須走99-7	75-2004 75-2088	小林 昭彦 大胡田かおり	(1) 5	(1) 69	(2) 64	(3) 133	(1) 55	(1) 39	(1) 39
合 計					(4) 23	(5) 304	(5) 290	(10) 594	(3) 205	(4) 194	(3) 195

()は特別支援学級・児童数、内数

(3) 幼稚園

(平成23年5月1日現在)

園 名	創立年月	所在地	電 話 兼 FAX	園長名	学級 数	園児数			年齢別園児数		
						男	女	計	3歳児	4歳児	5歳児
駿河小山幼稚園	平22.4	小山289-1	76-0479	馬場 裕美	3	31	25	56	23	21	12
足柄幼稚園	昭35.4	竹之下2430	76-0584	岩田 博子	3	17	9	26	4	13	9
北郷幼稚園	昭37.4	用沢207-1	78-0504	鈴木 あけみ	3	40	28	68	23	21	24
須走幼稚園	昭31.4	須走83	75-2710	田代 桂子	7	99	73	172	57	58	57
合 計					16	187	135	322	107	113	102

(4) 保育園

(平成23年5月1日現在)

園 名	創立年月	所在地	電 話 兼 FAX	園長名	学級 数	園児数			年齢別園児数					
						男	女	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
いきど保育園	昭31.9	生土132-1	76-0423	田代 照子	6	31	31	62	2	7	11	15	13	14
すがぬま保育園	昭38.11	菅沼1074-1	76-0429	山口 千代子	6	55	45	100	2	12	16	22	22	26
きたごう保育園	昭41.4	用沢169-1	78-0456	小野 美幸	7	56	52	108	7	13	24	16	26	22
すばしり保育園	昭30.9	須走153	75-2720	渡邊 洋子	6	42	35	77	6	11	13	18	10	19
合 計					25	184	163	347	17	43	64	71	71	81

4 小山町立学校通学区一覧

(1) 通常学級の通学区域

学校名	通 学 区 域
成美小学校	小山1区～4区、生土区、音湊区、中島区、柳島区、湯船区、藤曲区、落合区
明倫小学校	南藤曲区、茅沼区、菅沼区、坂下区、谷戸区、大脇区、原向区、所領区
足柄小学校	向方区、宿区、新柴区、桑木区
北郷小学校	用沢区、棚頭区、大御神区、中日向区、上野区、阿多野区、吉久保区、下古城区、大胡田区、上古城区、一色区
須走小学校	上本町区、下本町区、下原区、東原区、緑ヶ丘区、雲雀ヶ丘区
小山中学校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区域
北郷中学校	北郷小学校の通常学級の通学区域
須走中学校	須走小学校の通常学級の通学区域

(2) 特別支援学級(知的障害)の通学区域

学校名	通 学 区 域
明倫小学校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区域
北郷小学校	北郷小学校の通常学級の通学区域
須走小学校	須走小学校の通常学級の通学区域
小山中学校	小山中学校の通常学級の通学区域
北郷中学校	北郷中学校の通常学級の通学区域
須走中学校	須走中学校の通常学級の通学区域

(3) 特別支援学級(自閉症・情緒障害)の通学区域

学校名	通 学 区 域
明倫小学校	成美小学校、明倫小学校、足柄小学校、北郷小学校及び須走小学校の通常学級の通学区域
小山中学校	小山中学校、北郷中学校及び須走中学校の通常学級の通学区域

5 学校の位置と標高

学 校 名	緯 度	経 度	標 高
成 美 小 学 校	35° 21' 36"	138° 59' 16"	3 0 0 m
明 倫 小 学 校	35° 21' 10"	138° 58' 41"	3 2 1 m
足 柄 小 学 校	35° 19' 46"	138° 59' 09"	3 4 2 m
北 郷 小 学 校	35° 20' 28"	138° 56' 49"	4 4 6 m
須 走 小 学 校	35° 21' 39"	138° 52' 21"	7 8 2 m
小 山 中 学 校	35° 21' 29"	138° 59' 23"	2 8 5 m
北 郷 中 学 校	35° 20' 39"	138° 56' 57"	4 4 5 m
須 走 中 学 校	35° 21' 44"	138° 52' 18"	7 8 9 m

6 小学校、中学校、幼稚園、保育園施設の状況

(1) 小学校

平成23年5月1日 現在

学校名	校舎等の現状							校地の状況				付属施設	
	校舎			屋内運動場			合計	運動場	校地敷地 その他	合計		屋外運動施設	
	木造	非木造	建設年月	木造	非木造	建設年月						プール	建設年月
成美小学校	m	m	校:S59.7 給:S59.8	m	m	屋:S54.3	5,517	8,755	11,328	20,083		50*15 22.5*4.5	S34.9 S51.3
		4,166 225 4,391			1,126 1,126								
明倫小学校		3,656 148 3,804	校:S60.7 給:S60.9		(1,123) (1,123)	屋:S53.3	3,804 (4,927)	8,207	7,407	15,614		25*13 13*5	H10.6
足柄小学校		2,192 313 2,505	校:S61.3 給:S61.10	35 35	474 474	屋:S46.2 倉:S52.3	3,014	4,324	12,349	16,673		(25*12) (60m)	S47.8
北郷小学校		1,778 2,802 4,580	校:S54.3 校:H1.3 給:S54.3		(1,126) (1,126)	屋:S56.3	4,835 (5,961)	14,901	8,852	23,753		(25*12) (10*10)	S48.8
須走小学校		179 4,168 1,091 5,438	校:S50.12 校:S62.10 給:H10.3		(1,557) (1,557)	屋:H24.2 【予定】	5,438	12,375	11,558	23,933		25*17 25*5.2	S63.7

※ () は地区児童屋内体育館

※ () は地区町民プール
・印は低学年用

(2) 中学校

学校名	校舎等の現状							校地の状況			
	校舎			屋内運動場			合計	運動場	校地敷地 その他	合計	
	木造	非木造	建設年月	木造	非木造	建設年月					
小山中学校	m	m	校:S46.11 校:S49.3 校:H22.11 給:H9.3	m	m	(1,479) 屋:S57.3	8,123 (9,602)	16,234	8,538	24,772	
		2,180 1,755 3,480 708 8,123			(1,479)						
北郷中学校		3,574 546 4,120	校:H8.12 給:H8.12		312 1,497 1,809	格:S60.3 屋:H23.1	5,929	16,340	24,553	40,893	
須走中学校		3,995 47 145 4,187	校:H17.10 校:H17.10 校:H21.7		279 1,664 1,943	格:S55.3 屋:H21.7	6,130	12,345	10,264	22,609	

※ () は地区児童屋内体育館

(3) 幼稚園

園名	園舎等の現状							園地の状況			
	園舎			屋内運動場			合計	運動場	校地敷地 その他	合計	
	木造	非木造	建設年月	木造	非木造	建設年月					
駿河小山 幼稚園	m	m	園:H3.3 園:H22.3	m	m		545	1,212	1,698	2,910	
		482 63 545									
足柄幼稚園	55	498	園:S61.11 園:S62.3				553	928	828	1,756	
北郷幼稚園	912		園:H6.9				912	2,536	1,743	4,279	
須走幼稚園		1,122	園:H13.7				1,122	2,449	3,446	5,895	

(4) 保育園

園名	園舎等の現状							園地の状況			
	園舎			屋内運動場			合計	運動場	校地敷地 その他	合計	
	木造	非木造	建設年月	木造	非木造	建設年月					
いきど 保育園	m	m	園:S59.3	m	m		639	300	2,786	3,086	
		639 639									
すがぬま 保育園		722	園:H6.3				722	396	2,655	3,051	
きたごう 保育園		667	園:S52.3				667	950	1,590	2,540	
すばしり 保育園		674	園:S53.3				674	1,153	1,039	2,192	

7 小学校在籍者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	成美小学校		明倫小学校		足柄小学校		北郷小学校		須走小学校		合 計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
昭和50年	17	574	(1) 13	(4) 369	6	110	12	392	17	566	(1) 65	(4) 2,011
昭和60年	14	513	(1) 12	(4) 320	6	157	16	577	13	460	(1) 61	(4) 2,027
平成7年	12	385	(1) 11	(5) 261	6	128	13	433	14	418	(1) 56	(5) 1,625
平成12年	11	289	(1) 7	(5) 187	6	125	12	419	12	413	(1) 48	(5) 1,433
平成17年	10	261	(1) 7	(2) 177	6	130	12	362	(1) 14	(3) 407	(2) 49	(5) 1,337
平成18年	10	261	(1) 7	(2) 166	6	137	12	345	(1) 14	(2) 396	(2) 49	(4) 1,305
平成19年	7	223	(2) 8	(2) 168	6	141	11	333	(1) 14	(1) 388	(3) 46	(3) 1,253
平成20年	7	209	(2) 8	(4) 173	6	137	11	336	(1) 13	(3) 377	(3) 45	(7) 1,232
平成21年	7	195	(2) 8	(6) 174	6	128	(1) 12	(2) 327	(1) 13	(2) 399	(4) 46	(10) 1,223
平成22年	6	182	(2) 8	(6) 168	6	119	(1) 11	(2) 314	(1) 13	(2) 380	(4) 44	(10) 1,163
平成23年	6	168	(2) 8	(7) 163	6	113	(1) 11	(1) 301	(1) 13	(3) 367	(4) 44	(11) 1,112

()は特別支援学級・児童数、内数

8 中学校在籍者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	小山中学校		北郷中学校		須走中学校		合 計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
昭和50年	(1) 16	(11) 585	6	193	6	201	(1) 28	(11) 979
昭和60年	(1) 15	(6) 571	8	296	6	173	(1) 29	(6) 1,040
平成7年	(1) 13	(2) 447	8	252	3	114	(1) 24	(2) 813
平成12年	(1) 13	(2) 413	6	197	5	145	(1) 24	(2) 755
平成17年	(1) 10	(1) 286	7	223	(1) 6	(2) 135	(2) 23	(3) 644
平成18年	(1) 9	(1) 280	(1) 7	(1) 215	(1) 7	(1) 145	(3) 23	(3) 640
平成19年	(1) 11	(1) 292	(1) 7	(1) 196	(1) 7	(2) 145	(3) 25	(4) 633
平成20年	(1) 10	(1) 284	6	181	(1) 7	(2) 143	(2) 23	(3) 608
平成21年	(1) 10	(1) 296	(1) 7	(2) 181	(1) 6	(1) 134	(3) 23	(4) 611
平成22年	(2) 11	(4) 280	(1) 7	(3) 183	(1) 5	(3) 127	(4) 23	(10) 590
平成23年	(2) 11	(5) 285	(1) 7	(2) 176	(1) 5	(3) 133	(4) 23	(10) 594

()は特別支援学級・児童数、内数

9 幼稚園在園者数の推移

(各年度5月1日現在)

区分 年度	小山幼稚園			駿河幼稚園				足柄幼稚園				北郷幼稚園				須走幼稚園				合 計					
	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計		
昭和50年	33	35	68	/	45	35	80	/	32	23	55	/	56	47	103	/	81	55	136	/	247	195	442		
昭和60年	33	33	66		15	16	31		17	20	37		32	45	77		56	47	103		153	161	314		
平成7年	25	27	52		20	19	39		12	18	30		40	44	33		117	68	64		132	40	169	161	370
平成12年	25	41	66		17	16	26		59	19	17		36	45	40		33	118	56		49	105	62	156	166
平成17年	13	17	30	15	13	10	38	10	14	12	36	30	18	34	82	58	56	71	185	113	114	144	371		
平成18年	12	13	25	16	12	13	41	12	11	13	36	25	30	18	73	55	57	50	162	108	122	107	337		
平成19年	16	13	29	9	9	11	29	11	13	11	35	19	26	28	73	41	56	54	151	80	120	117	317		
平成20年	9	16	25	11	9	8	28	8	12	12	32	23	18	26	67	49	51	49	149	91	99	111	301		
平成21年	8	10	18	10	11	9	30	8	7	13	28	28	24	20	72	61	49	53	163	107	99	105	311		
平成22年	/	/	/	駿河小山幼稚園				12	11	7	30	22	26	24	72	47	59	46	152	100	108	97	305		
				19	12	20	51																		
平成23年				23	21	12	56	4	13	9	26	23	21	24	68	57	58	57	172	107	113	102	322		

※平成22年4月1日：小山幼稚園と駿河幼稚園の統合により駿河小山幼稚園として開園。

10 保育園在園者数の推移

(各年度4月1日現在)

区分 年度	(旧) 藤曲保育所							いきど保育園							すがぬま保育園						
	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計
昭和50年	12							14							14						
昭和60年	8							1							11						
平成7年	2							1							4						
平成12年	/	/	/	/	/	/	/	2							2						
平成17年								3							2						
平成18年								7							3						
平成19年								1							4						
平成20年								1							1						
平成21年								2							2						
平成22年								1							5						
平成23年								2							2						

区分 年度	きたごう保育園							すばしり保育園							合 計						
	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計
昭和50年	17							7							64						
昭和60年	11							16							47						
平成7年	13							7							27						
平成12年	2	4	11	21	27	20	85	4	10	9	10	22	17	72	10	27	43	65	78	72	295
平成17年	2	7	10	30	21	22	92	3	15	17	15	27	5	82	10	41	48	84	79	60	322
平成18年	3	8	12	17	32	22	94	2	7	16	20	14	25	84	8	31	50	63	81	80	313
平成19年	3	1	10	17	17	35	83	2	7	10	18	20	12	69	10	24	46	70	67	83	300
平成20年	3	12	16	16	15	16	78	6	10	12	11	22	19	80	11	42	53	60	77	64	307
平成21年	3	7	18	24	18	18	88	5	12	12	14	14	24	81	12	37	61	75	66	82	333
平成22年	7	13	12	27	23	18	100	5	13	16	12	15	12	73	18	37	59	72	76	63	325
平成23年	7	13	24	16	26	22	108	6	11	14	18	11	19	79	17	43	65	71	71	81	348

※平成9年3月31日：藤曲保育所廃止。

1 1 教職員の構成

平成23年5月1日現在（単位：人）

職 名	小 学 校			中 学 校			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
校 長	5		5	3		3	8		8
教 頭	1	4	5	2	1	3	3	5	8
教 諭	28	(2)	(2)	26	12	38	54	(2)	(2)
養 護 教 諭		(1)	(1)					(1)	(1)
		6	6		3	3		9	9
講 師		4	4	1	1	2	1	5	6
栄 養 教 諭		1	1					1	1
事 務 職 員	1	4	5	1	2	3	2	6	8
非 常 勤 講 師		2	2		5	5		7	7
カウンセラー (非常勤)				1	1	2	1	1	2
合 計	35	(3)	(3)	34	25	59	69	(3)	(3)
		47	82					72	141
町 費 職 員		3	3		1	1		4	4
町非常勤講師 (支援員含)		16	16		4	4		20	20
町臨時職員 (事務・用務・給食員等)		25	25		11	11		36	36

()は産休・育休職員、内数

1 2 中学校卒業後の進路

	小山中学校				北郷中学校				須走中学校				合 計			
	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計
7年度	141			141	89	1		90	35			35	265	1		266
	100.0			100.0	98.9	1.1		100.0	100.0			100.0	99.6	0.4		100.0
12年度	150		1	151	70			70	34			34	254		1	255
	99.3		0.7	100.0	100.0			100.0	100.0			100.0	99.6		0.4	100.0
13年度	124	2	1	127	74	1	1	76	49	1		50	247	4	2	253
	97.6	1.6	0.8	100.0	97.4	1.3	1.3	100.0	98.0	2.0		100.0	97.6	1.6	0.8	100.0
14年度	129		2	131	52		1	53	41	1	1	43	222	1	4	227
	98.5		1.5	100.0	98.1		1.9	100.0	95.4	2.3	2.3	100.0	97.8	0.4	1.8	100.0
15年度	98		2	100	75	1	1	77	45	2		47	218	3	3	224
	98.0		2.0	100.0	97.4	1.3	1.3	100.0	95.7	4.3		100.0	97.3	1.3	1.3	100.0
16年度	109	1	2	112	65	2		67	47		2	49	221	3	4	228
	97.3	0.9	1.8	100.0	97.0	3.0		100.0	95.9		4.1	100.0	96.9	1.3	1.8	100.0
17年度	83	1		84	69	2		71	37			37	189	3		192
	98.8	1.2		100.0	97.2	2.8		100.0	100.0			100.0	98.4	1.6		100.0
18年度	104	2	2	108	71			71	45		1	46	220	2	3	225
	96.2	1.9	1.9	100.0	100.0			100.0	97.8		2.2	100.0	97.8	0.9	1.3	100.0
19年度	90	3		93	79	2		81	45			45	214	5		219
	96.8	3.2		100.0	97.5	2.5		100.0	100.0			100.0	97.7	2.3		100.0
20年度	81	1	1	83	62	2		64	46			46	189	3	1	193
	97.6	1.2	1.2	100.0	96.9	3.1		100.0	100.0			100.0	97.9	1.6	0.5	100.0
21年度	117	1	1	119	50			50	49			49	216	1	1	218
	98.4	0.8	0.8	100.0	100.0			100.0	100.0			100.0	99.1	0.5	0.5	100.0
22年度	83	1	1	85	67			67	43			43	193	1	1	195
	97.6	1.2	1.2	100.0	100.0			100.0	100.0			100.0	99.0	0.5	0.5	100.0

1 3 今後5か年の就学児童推定表

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
成美小学校	168	163	176	182	184
明倫小学校	163	171	167	170	179
足柄小学校	113	107	100	103	105
北郷小学校	301	290	299	279	278
須走小学校	367	395	412	424	450
合 計	1,112	1,126	1,154	1,158	1,196

「平成24年度以降の児童数等調査より」

1 4 就学奨励援助

教育の機会均等を確保するため、要保護及び準要保護者に対して、就学援助関係法令に基づいて、教育委員会が援助費を支援しています。さらに、特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、その就学に係る保護者の経済的負担を軽減するとともに、特別支援教育の振興のために奨励費を支給しています。

(1) 平成23年度要保護及び準要保護児童・生徒数

平成23年5月1日現在

学 校 名	児童生徒総数	要保護	準要保護	計	援助率
成 美 小 学 校	168 人	1 人	8 人	9 人	5.35 %
明 倫 小 学 校	163		10	10	6.13
足 柄 小 学 校	113		2	2	1.76
北 郷 小 学 校	301		6	6	1.99
須 走 小 学 校	367		5	5	1.36
小 学 校 計	1,112	1	31	32	2.87
小 山 中 学 校	285	1	20	21	7.36
北 郷 中 学 校	176		10	10	5.68
須 走 中 学 校	133		3	3	2.25
中 学 校 計	594	1	33	34	5.72
区域外通学者(中学生)	1		1	1	-

(2) 平成22年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費実績

(単位：円)

校 種 別 区 分		小 学 校		中 学 校	
		支給人数	金 額	支給人数	金 額
学 用 品 費 通 学 用 品 費 校 外 活 動 費 (宿泊を伴わないもの)	第 1 学 年	6	71,620	10	240,920
	その他の学年	27	398,248	21	545,170
	計	33	469,868	31	786,090
校外活動費(宿泊を伴うもの)		5	5,631	21	92,362
新入学児童生徒学用品費等		5	99,500	10	229,000
修学旅行費		10	229,800	9	531,628
医 療 費			0		0
学 校 給 食 費		33	1,364,200	31	1,606,736
合 計			2,168,999		3,245,816

(3) 平成23年度特別支援学級在籍者数

平成23年5月1日現在

学 校 名	在籍者
明 倫 小 学 校	7
北 郷 小 学 校	1
須 走 小 学 校	3
小 学 校 計	11
小 山 中 学 校	5
北 郷 中 学 校	2
須 走 中 学 校	3
中 学 校 計	10

(4) 平成22年度特別支援教育就学奨励費実績

(単位：円)

区 分 \ 校 種 別		小 学 校		中 学 校	
		支給人数	金 額	支給人数	金 額
学校給食費		9	187,758	8	199,326
交 通 費	通学費 (自家用車)	2	83,600	1	61,600
	交流学习費	9	7,700	9	12,500
修学旅行費		1	10,300		
校 外 活 動 費	宿泊なし	9	6,795	8	4,960
	宿泊あり	1	1,128	7	18,236
学用品購入費		9	49,950	8	86,800
通学用品購入費・ 新入学児童生徒学用品費等	新入学年	1	9,950	4	45,800
	その他学年	8	8,680	4	4,340
合 計			365,861		433,562

15 育英奨学資金

教育委員会では、昭和38年度に「小山町育英奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例」を制定し、将来の有望な人材を育成することを目的として、優良な生徒で経済的理由によって修学が困難な学生に毎年、学資を貸与しています。

現在の貸与金額は、大学生が月額30,000円、高校生が12,000円で卒業後1年間据え置き、2年目から元金のみを3年から5年以内に返還していただいています。

年度	年度当初育英奨学資金原資	新規採用者		貸付者総数		貸与金額 (決算)	返還状況(決算)		年度末貸与金額総額
		高校	大学	高校	大学		人数	金額	
2	10,356,217				7	2,100,000	2	270,000	5,629,400
7	14,098,512		3	1	6	2,280,000	5	1,045,000	7,605,000
8	15,215,433		2	1	7	2,640,000	5	1,045,000	9,200,000
9	17,235,776		4		11	3,960,000	3	735,000	12,425,000
10	18,171,504		5	1	17	4,680,000	4	1,047,000	16,058,000
11	18,178,870		3	1	19	3,600,000	10	6,311,000	13,347,000
12	18,178,870		1	1	19	3,240,000	9	1,923,000	14,664,000
13	21,189,949		2	1	20	2,520,000	9	1,920,000	15,264,000
14	24,296,608		2		19	2,160,000	13	3,048,000	14,376,000
15	26,296,937	1		1	18	1,224,000	15	4,032,000	11,568,000
16	27,017,043		1	1	16	1,224,000	12	3,000,000	9,792,000
17	26,797,196		3	1	15	2,160,000	10	2,286,000	9,666,000
18	27,297,359		1	1	16	1,800,000	10	2,284,000	9,182,000
19	27,407,409		3	1	16	2,880,000	9	2,270,000	9,792,000
20	27,454,357		1		14	2,880,000	5	1,296,000	11,376,000
21	27,510,256		4		16	3,240,000	4	1,152,000	13,464,000
22	27,539,662	1	3	1	18	3,744,000	7	2,300,000	14,908,000
23	27,550,006	1	4	2	16	3,168,000	8	2,588,000	15,488,000

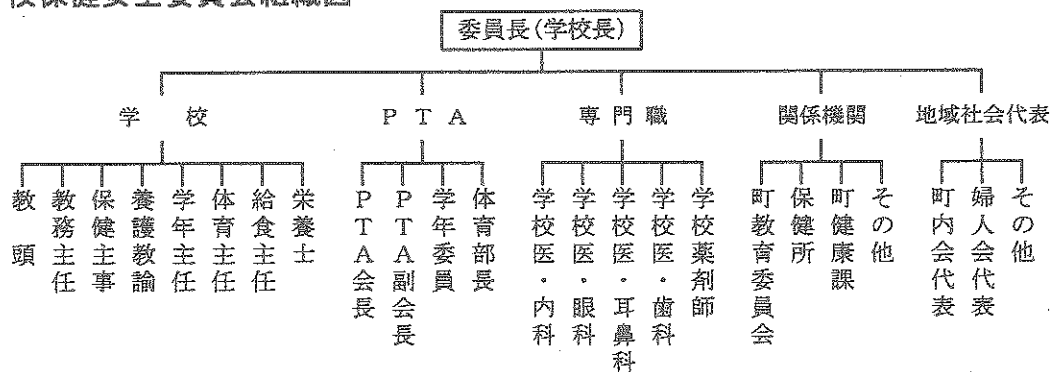
16 学校保健

こどもたちの健康保持と増進のため、内科検診をはじめとした各種の健康診断を実施しています。また、各学校ごとに学校保健安全委員会を組織し、保健計画に基づいた安全対策と健康増進を図っています。

(1) 町の保健事業計画

- ① 定期健康診断
- ② 尿検査（対象：小・中・幼全員）
- ③ 心音心電図（心臓）検診（対象：小1、中1）
- ④ 脊柱側湾症検診
- ⑤ 結核健康診断
- ⑥ ぎょう虫卵検査（対象：小・幼・保全員）
- ⑦ 就学時健康診断
- ⑧ 就園時健康診断
- ⑨ 教職員健康診断

(2) 学校保健安全委員会組織図



(3) 校医・校歯科医・校薬剤師一覧（平成23年度）

	内 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	薬 剤 師
成美小学校	岩田祥吾	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	小野篤之	長須賀恒雄
明倫小学校	中川靖夫	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	大木長生	長須賀恒雄
足柄小学校	中川靖夫	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	小野義晃	芹澤一男
北郷小学校	友成正明	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	鈴木徳夫	牧野 潔
須走小学校	田内守之	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	斉藤康裕	中澤 ゆかり
小山中学校	岩田祥吾	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	小野篤之	芹澤一男
北郷中学校	中川靖夫	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	鈴木徳夫	牧野 潔
須走中学校	安田敏男	六鹿秀夫 (富士小山病院)	早間 隆	斉藤康裕	中澤 ゆかり
駿河小山幼稚園	岩田祥吾			大木長生	長須賀恒雄
足柄幼稚園	中川靖夫			小野義晃	芹澤一男
北郷幼稚園	友成正明			鈴木徳夫	牧野 潔
須走幼稚園	田内守之			斉藤康裕	中澤 ゆかり
いきど保育園	岩田祥吾			小野義晃	
すがぬま保育園	中川靖夫			大木長生	
きたごう保育園	中川靖夫			村井恵太	
すばしり保育園	安田敏男			村井恵太	

(4) 児童・生徒の体格

(平成23年度)

区 分			小 学 校						中 学 校		
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年
男 子	身長 cm	町	115.5	121.8	● 127.9	132.6	138.0	● 144.8	152.0	158.9	164.5
		県	116.0	122.1	127.5	132.8	138.5	144.6	152.1	159.3	164.9
		全国	116.7	122.5	128.2	133.5	138.8	145.0	152.4	159.7	165.1
	体重 kg	町	21.1	23.6	26.4 ●	30.5 ●	34.0 ●	38.4 ◎	45.0	47.6	53.8
		県	21.2	23.6	26.7	29.7	33.6	38.0	43.8	48.7	54.5
		全国	21.4	24.0	27.2	30.5	34.1	38.4	44.1	49.2	54.4
	座高 cm	町	64.5	67.3	● 70.1	72.2	74.4	77.4	81.0	84.5 ●	88.1
		県	64.6	67.5	69.9	72.5	74.7	77.6	81.2	84.7	88.0
		全国	64.9	67.6	70.3	72.7	74.9	77.6	81.3	85.0	88.1
女 子	身長 cm	町	115.3	121.1	● 127.1	133.0	139.9	146.2	150.8	153.9	155.2
		県	115.4	121.4	126.6	133.4	140.0	146.3	151.7	154.5	156.5
		全国	115.8	121.7	127.4	133.5	140.2	146.8	151.9	155.0	156.5
	体重 kg	町	20.4 ◎	23.7 ●	26.4 ●	29.8	32.9 ●	39.0 ●	● 43.4 ●	47.2 ◎	50.3
		県	20.9	23.3	26.2	29.8	33.6	38.9	43.3	46.5	49.7
		全国	21.0	23.5	26.5	30.0	34.1	39.0	43.8	47.3	50.0
	座高 cm	町	64.4	66.8	69.7	72.6	75.5	78.7	81.6	83.2	84.6
		県	64.4	67.1	69.7	72.7	75.7	79.1	82.2	83.6	85.0
		全国	64.5	67.3	70.0	72.7	75.9	79.2	82.1	83.8	84.8

※ 県平均及び全国平均は、平成22年度文部科学省学校保健統計調査値。

○は全国平均を上回る。 ●は県平均を上回る。 ◎は全国平均・県平均を上回る。

17 日本スポーツ振興センター

(1) 月別災害発生件数

(平成22年度)

区分	在籍数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	被災率
成美小	182			2			3			2		2		9	4.9%
明倫小	168							1						1	0.6%
足柄小	119		1	1			1	2				2		7	5.9%
北郷小	314		1	1	1			1				1		5	1.6%
須走小	380		2		1		2		1	2	2	2		12	3.2%
計	1,163	0	4	4	2	0	6	4	1	4	2	7	0	34	2.9%
小山中	280	1	6	4	2	1	4		2	1	2	3	2	28	10.0%
北郷中	183	1			1	1	2		1	3	2			11	6.0%
須走中	127	1		3			3		4					11	8.7%
計	590	3	6	7	3	2	9	0	7	4	4	3	2	50	8.5%
幼稚園	305								1					1	0.3%
保育園	324							1	1					2	0.6%
合計	2,382	3	10	11	5	2	15	5	10	8	6	10	2	87	3.7%

(2) 学年別災害発生件数

(平成22年度)

校種	学年別	在籍数	件数	発生率
小学校	1	190	3	1.6%
	2	178	5	2.8%
	3	209	5	2.4%
	4	184	6	3.3%
	5	191	6	3.1%
	6	211	9	4.3%
中学校	1	196	9	4.6%
	2	198	22	11.1%
	3	196	19	9.7%
幼稚園		305	1	0.3%
保育園		324	2	0.6%

(3) 負傷別・疾病件数

(平成22年度)

種類	小学校	中学校	幼稚園	保育園	合計
骨折	7	15			22
捻挫	7	12			19
脱臼	2	1			3
挫傷・打撲	8	17		2	27
挫創	6	1	1		8
切創	1	1			2
刺創					0
割創					0
裂創		1			1
擦過創					0
熱傷・火傷					0
歯牙破折	1				1
その他	2	2			4
負傷	34	50	1	2	87
疾病					0
計	34	50	1	2	87

18 学校給食

(1) 経過

小山町の学校給食は、昭和21年に粉乳給食が開始された。さらに子供たちの体位向上を求めて完全給食の実施を望む声があり、昭和30年11月に須走小学校、昭和37年4月成美小学校・明倫小学校・足柄小学校に、同年5月北郷小学校にと町内5つの小学校で、単独校方式の完全給食を開始した。

- ・昭和59年9月：成美小に当町初のドライシステム方式を採用。
- ・昭和60年9月：明倫小にドライシステム方式を採用。
- ・昭和61年10月：足柄小ドライシステム方式を採用し食堂型の給食棟とする。

平成9年2月から北郷中学校で、平成9年4月から小山中学校で、食堂を備えた単独校方式による完全給食を開始した。

つづいて、須走中も平成10年4月から須走小・中学校共同の食堂を備えた給食施設での完全給食を開始した。

(2) 給食費

(平成23年5月1日現在)

区 分		小 学 校	中 学 校
給食費（1人1か月当たり）		3,800 円	4,600 円
給食費徴収回数（年間）		11 回	11 回
給食回数（年間）		183 回	181 回
単 価（1食当たり）		228円 41銭	279円 55銭
内 訳	主 食	30円 40銭	41円 40銭
	牛 乳	43円 49銭	43円 49銭
	副 食	154円 52銭	194円 66銭

(3) 給食数（1日当たり）

成 美 小 学 校	187食	小 山 中 学 校	310食
明 倫 小 学 校	185食	北 郷 中 学 校	208食
足 柄 小 学 校	137食	須 走 中 学 校	146食
北 郷 小 学 校	343食		
須 走 小 学 校	413食		
合 計	1,265食	合 計	664食

(4) 主食1食当たりの単価と年間予定回数

区 分	小 学 校		中 学 校	
米 飯 自 校 炊 飯	20円 80銭	110回(週3回)	28円 60銭	109回(週3回)
パ ン	46円 19銭	62回	63円 81銭	61回
麵 類	37円 48銭	11回(月1回)	43円 99銭	11回(月1回)
合 計	183 回		181 回	

IV 社会教育

1 社会教育委員

社会教育委員は「社会教育法」第15条に基づき教育委員会が委嘱している。

職務は、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会から諮問された事項に対しての意見具申及びこれらの客観的判断をするための調査・研究などがある。

「小山町社会教育委員条例」では、定数を15人以内、任期を2年と定めている。

任期 平成24年3月31日

役 職	氏 名
委 員 長	高 橋 豊 宏
副 委 員 長	佐 藤 陽 子
委 員	室 伏 義 久
〃	鳥 沢 孝 之
〃	池 谷 浩 一
〃	近 藤 勝 正
〃	小 見 山 聡
〃	磯 井 吉 孝
〃	遠 藤 正 樹
〃	青 木 利 枝 子
〃	池 谷 み ゆ き
〃	白 井 裕 子
〃	岩 田 忠 春
〃	眞 部 和 徳
〃	岩 田 悦 子

2 生涯学習

科学技術の進歩や情報化、国際化、高齢化社会になっている中で、一人ひとりが知識や技術を伸ばし、趣味、レクリエーションなどを楽しみ、生きがいのある充実した人生を送るため、自発的意志に基づく生涯にわたっての学習が重視されている。

このため、町民の学習に対する支援を進めるとともに、生涯学習の観点から社会教育の推進を図っていく。

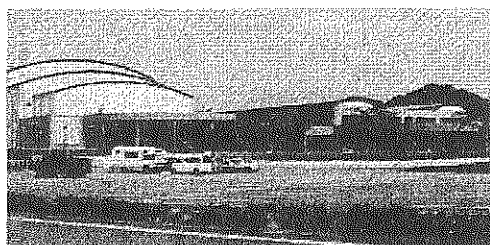
(1)生涯学習推進委員会委員

任期 当然職在職中

区 分	役 職	氏 名
委 員 長	副 町 長	土 村 暁 文
副委員長	教 育 長	戸 枝 浩
〃	社会教育委員長	高 橋 豊 宏
委 員	社会教育委員	室 伏 義 久
〃	〃	鳥 沢 孝 之
〃	〃	池 谷 浩 一
〃	〃	近 藤 勝 正
〃	〃	小 見 山 聡
〃	〃	磯 井 吉 孝
〃	〃	遠 藤 正 樹
〃	〃	青 木 利枝子
〃	〃	池 谷 みゆき
〃	〃	臼 井 裕 子
〃	〃	岩 田 忠 春
〃	〃	岩 田 悦 子
〃	〃	眞 部 和 徳
〃	〃	佐 藤 陽 子
〃	老人クラブ代表	室 伏 弘 行
〃	企画調整部長	小 野 巖
〃	住民福祉部長	土 屋 礼 二
〃	経済建設部長	後 藤 栄 一
〃	学校教育課長	小 野 学

(2)生涯学習課施設関係

① 総合文化会館



所 在 地 小山町阿多野130
敷 地 面 積 27,213.24㎡
建 物 面 積 5,627.35㎡
延 床 面 積 7,835.48㎡
大 ホ ー ル 996席 車椅子6席 母子11席
開 設 平成4年2月
職 員 12名(図書館含む)
電 話 番 号 76-5700、5701、5722

総合文化会館は、平成4年に開館して以来、毎年多くの方々に利用していただいているが、更に内容の充実を図るなど、町民の生涯学習拠点としての施設づくりを進める。

- ② 総合体育館・野球場・多目的広場・弓道場・小山道場・パークゴルフ場・夜間照明施設
体育施設は、平成23年度からNPO法人小山町体育協会を指定管理者として管理しており、体育協会や総合型地域スポーツクラブとの連携により、各種教室や大会等を開催し、有効利用を図ります。

③ 「夢ひろば」の発行

生涯学習事業のPR、利用促進につなげていくために、毎月「夢ひろば」を広報おやまに掲載する。また、自主文化事業のPRを目的とした「夢ひろば特別号」を年1回発行する。

④ 施設利用の利便性の充実のための職員対応

利用者の利便性の充実のために次の対応を行う。

職員の勤務をローテーション化しており、利用者の利便を図るために町内巡回バスの運行や、窓口では施設利用申請を午後8時30分まで受付している。

(3) 生涯学習関係事業計画

生涯学習推進と啓発のため次の事業を行う。

- ・推進組織の充実とネットワークづくり
- ・生涯学習の啓発
- ・生涯学習情報提供

① 啓発のための講演会開催

- ・期 日 11月20日(日)
- ・会 場 総合文化会館
- ・講 師 尾木直樹氏

② 情報提供チラシの各戸配布、ポスターの各区掲示

(4) 視聴覚教育

① フィルム・ビデオテープの利用促進

静岡県教育委員会社会教育課保存のビデオ・DVD等の利用促進を図り、家庭教育に関する学習の教材とする。

(5) 成人教育

① 家庭教育学級の開設奨励と指導

幼稚園、小学校、中学校PTA会員を対象に開設し、家庭教育の充実を図るとともに、児童の健全育成を進める。

- ・期 日 年間8～10回 1回2時間程度
- ・幼稚園4 小学校5 中学校3 計12学級
- ・対象、学級生数、学習目標、プログラム等は学級運営委員会で企画、実行する。
- ・プログラム内容は、「親と子のかかわり」や「親の姿勢」を中心課題とする。

② 成人団体、グループ活動を奨励指導

町内成人団体活動を奨励し、連帯感のある地域づくりを図る。

③ 町民講座の開設

誰でも楽しめるテーマで講座を開設し、町民が気軽に参加できる機会を提供する。

- ・地域に密着した内容とする。
- ・期 日 11月～3月 5回予定
- ・対 象 一般町民

④ こども相談室(なのはな)

家庭を中心とした子どものしつけ、教育、地域問題、親の在り方等に関する教育相談を子ども相談員が行う。

- ・会 場 北郷幼稚園内 面接指導または電話相談

⑤ 婦人団体の活動奨励

自主的な学習活動と地域活動を行う婦人団体を援助し、その活性化を図る。

⑥ 「家庭の日」の啓蒙

家庭教育の一環としての有意義な過ごし方を考え実行する機会とする。

- ・期 日 毎月第3日曜日

(6) 青少年教育

① ふるさと学級

児童が郷土の文化と自然の中での学習を通してふるさとを見直し、地域社会の形成者としての自覚を高める。

- ・期 日 年間5～6回 休業期間に実施
- ・実施校 5校(町内各小学校)
- ・内 容 歴史、自然、ボランティア、野外活動、郷土の伝統継承、地域美化、農業体験等

② 青年団体との連携

連合青年団等の青年活動の活性化と地域活動への参加を促進する。

- ・内 容 富士山環境整備美化奉仕 宿泊研修 スポーツ大会
駿東地区青年教育振興協議会等

③ 成人式の実施

- ・期 日 平成24年1月8日(日) 10:00～11:45(予定)
- ・会 場 総合文化会館 金太郎ホール
- ・内 容 式典

④ 青少年問題協議会の開催

関係機関、団体相互の連絡調整機関としての働きを基盤に青少年の健全育成と青少年の諸問題を協議する。

- ・主として夏と冬に「青少年を守り育てる運動」を展開する。

⑤ 青少年健全育成の推進

健やかな青少年の育成をめざして、地域住民の意識の高揚と活動を活性化させるための事業を推進する。

- ・内 容 青少年健全育成チラシ配布 駅伝大会参加奨励 教育講演会の開催
青少年のための科学の祭典inおやま

⑥ 青少年補導員活動の推進

青少年健全育成のための補導活動と関係機関団体との連絡をとり、住みよい環境づくりを進める。

- ・内 容 補導員会議開催 夏祭り巡回 県下一斉補導の実施
声かけ運動への参加

⑦ 広域青年教室の実施

駿東地区の2市3町により研修を通して青年相互の仲間づくりと、青年リーダーの育成を図る。

- ・対 象 18歳～30歳の青年

(7) 青少年問題協議会委員

任期 平成25年6月30日

区 分	氏 名	役 職 名
会 長	込 山 正 秀	小山町長
副 会 長	眞 田 勝	議会議長
〃	戸 枝 浩	教育長
委 員	桜 井 光 一	議会文教厚生委員長
〃	土 村 暁 文	副町長
〃	眞 部 和 徳	富士学校総務課長
〃	藤 浪 弘 雅	御殿場警察署長
〃	櫻 井 慎 二	小山交番長
〃	小 林 昭 彦	須走中学校長
〃	中 山 正 之	明倫小学校長
〃	杉 山 由美子	小山高等学校長
〃	尾 崎 宏 也	教育委員会委員長
〃	高 橋 豊 宏	社会教育委員長
〃	井 田 松 江	民生委員・児童委員協議会 会長
〃	渡 邊 巧	保護司代表
〃	小見山 聡	子ども会育成連合会長
〃	保 坂 進	区長会長
〃	渡 邊 敬 之	連合青年団長
〃	米 山 享 雄	商工会長
〃	遠 藤 正 樹	PTA連合会代表
〃	池 谷 みゆき	連合婦人会長
〃	齊 藤 広 人	青少年補導員代表

(8) 青少年補導員

任期 平成25年3月31日

役 職	氏 名	役 職	氏 名
補導員代表	齊 藤 広 人	補 導 員	池 谷 正 彦
補 導 員	佐 藤 睦	〃	橋 本 奈央子
〃	荒 生 竜 治	〃	相野谷 光 子
〃	淡 田 満	〃	小見山 きく江
〃	天 野 裕 司	〃	長谷川 和 之
〃	小 川 浩	〃	三 浦 尚 子
〃	安 藤 光 正	〃	森 順
〃	仲 井 秀 弥		

但し、荒生竜治氏と淡田満氏の任期は平成24年3月31日

3 芸術文化

(1) 趣味の教室・講座の開設

ボランティア支援センターの登録ボランティアや文化連盟等を活用した教室を開催する。

- ・茶道教室 陶芸教室 パレエ教室 パソコン教室 ステンドグラス教室、民謡教室、ゴルフ教室 消しゴムはんこ教室 銅工芸画教室、太鼓教室、パン作り教室等を開設
- ・対 象 一般町民
- ・会 場 総合文化会館

(2) 児童対象事業の実施

児童館を廃止したが、子供たちに豊かな遊びを与え、健康を維持し、情操を豊かにするため、児童の健全な育成と福祉の向上を推進する。

月	事業名	月	事業名
4	ぺんぎんランド①	10	手作り教室③（ハロウィーンを楽しもう） ぺんぎんランド⑦ 子ども会ボランティア活動②
5	手作り教室①（母の日プレゼント作り） ぺんぎんランド② 子ども会ボランティア活動①	11	わくわく科学教室④ やきいも会 ぺんぎんランド⑧
6	手作り教室②（父の日プレゼント作り） わくわく科学教室① ぺんぎんランド③	12	町子連写生画表彰式&クリスマス会 ぺんぎんランド⑨
7	わくわく科学教室② ぺんぎんランド④ 町子連球技大会 3M夏休み子ども科学実験館	1	新年おたのしみ会 ぺんぎんランド⑩ 節分の会
8	親子木工教室 キャンプ体験学習 ぺんぎんランド⑤（ミニ夏まつり）	2	わくわく科学教室⑥ ぺんぎんランド⑪ 生涯学習フェスティバル
9	わくわく科学教室③ ぺんぎんランド⑥	3	ぺんぎんランド⑫

(3) 町民文化祭の開催等

文化活動の成果発表の機会として文化祭を開催する。

- ・ 第55回文化展
- ・ 第36回音楽祭
- ・ 第29回舞踊祭
- ・ 第16回囲碁祭
- ・ 第13回民踊祭
- ・ 第13回カラオケ祭
- ・ 第6回ダンスフェスタ
- ・ 期 日 10月8日（土）・9日（日）
 10月22日（土）・23日（日）
- ・ 会 場 総合文化会館
- ・ 展示内容 文芸 華道 書道 絵画 陶芸 盆栽山草 写真 手芸 茶道等
- ・ 実行委員会を設ける。

(4) 町民文芸誌の発行

文芸誌「駿河路」第81号を発行する。

- ・ 内 容 創作 紀行文 随筆 詩 俳句 短歌 川柳

(5) 第33回駿河路のつどい開催

短歌、俳句、川柳を同一会場で開催し、文芸に親しむ愛好者の拡大を図る。

- ・ 期 日 11月18日（金）
- ・ 会 場 総合文化会館 集会和室他

4 文化財保護

(1) 指定文化財の保護

町内の国指定文化財2件、国登録文化財8件、県指定の文化財5件、町指定文化財17件の保護保全に努める。

(2) 文化財の発掘

文化財保護審議会委員を中心に埋もれた郷土の文化財を発掘し、後世に残るよう努める。
また、図書館との連携により地域史資料の収集、保存に努める。

(3) 郷土芸能の育成援助

郷土芸能である「竹之下太鼓」と「大富士公時太鼓」の活動援助のための助成を行う。

(4) 文化財の調査

埋蔵文化財、古文書等の文化財調査を実施し、町民への周知をはかる。

(5) 文化財保護審議会委員

任期 平成24年3月31日

職 名	氏 名
委 員 長	樽 林 一 美
副 委 員 長	大 箕 正 之
委 員	小 見 山 治 子
〃	若 尾 栄
〃	湯 山 富 士 子
〃	小 見 山 昌 弘
〃	鈴 木 利 昌
〃	池 谷 正 治
〃	山 本 敦 美
〃	北 村 喜 久 男
〃	荒 川 博 文

(6) 町内の文化財

① 国指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
特 別 名 称	富 士 山	S27. 11. 22	
史 跡	富 士 山	H23. 2. 7	

② 国登録文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
建 造 物	豊門会館(和室)	H17. 11. 10	藤曲144-8 明治42年建築した和田豊治宅を大正14年に現在地へ移築。木造2階建て、瓦葺、入母屋破風。
建 造 物	豊門会館(洋館)	H17. 11. 10	和室と隣接し、和館の南側に位置する。平屋建て、スレート葺き、寄棟造。
建 造 物	豊門公園西洋館	H17. 11. 10	藤曲142-7 昭和初期に建設。旧豊門青年学校。木造2階建て、スレート葺き、寄棟造。
建 造 物	豊門公園正門	H17. 11. 10	藤曲144-8 大正14年建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗出し仕上げの門柱。
建 造 物	豊門公園噴水泉	H17. 11. 10	藤曲142-7 昭和初期に建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗出し仕上げで石積み風に目地を入れている。
建 造 物	豊門公園和田君遺徳碑	H17. 11. 10	藤曲144-8 大正14年建設。高さ3mの花崗岩製。朝倉文夫による独特な意匠。
建 造 物	森 村 橋	H17. 11. 10	小山133-6 明治39年建設。銅製ブラットトラス方式。設計は秋元繁松、製作は東京石川島造船所。
建 造 物	村松家住宅主屋	H20. 7. 8	須走31 昭和12年登記。木造平屋建て、面積123㎡。屋根は切妻造で土間と食堂、和室が接続。建築は清水組。

③ 県指定文化財

種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
彫 刻	宝鏡寺の木造地藏菩薩坐像	S60. 3. 19	竹之下1462 像高77.1m・檜材・寄木造・内刻・漆箱・白毫に水晶玉・玉眼嵌入・南北朝期
天 然 記 念 物	富士浅間神社のハルニレ	S38. 2. 19	須走126 幹廻4m・樹高24.5m
天 然 記 念 物	大胡田天神社のイチョウ	S41. 3. 22	大胡田643 幹廻7.6m・樹高20m
天 然 記 念 物	上野のトチノキ	S41. 3. 22	上野299 幹廻7m・樹高40m
天 然 記 念 物	柳島八幡神社の二本杉	S42. 10. 11	柳島168 幹廻5.2m・樹高31m・幹廻5.5m・樹高36m

④ 町指定文化財

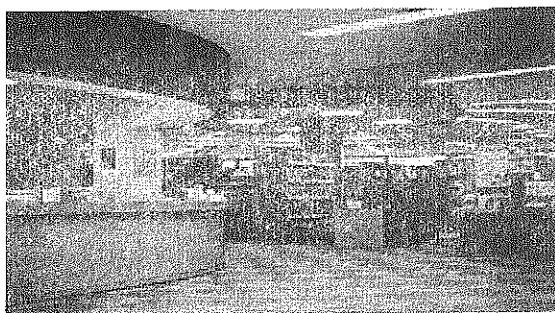
種 別	名 称	指定年月日	所 在 地 ・ 特 徴
建 造 物	甘露寺宝篋印塔	S48. 10. 25	菅沼683 応永7年(1400年)徳勝和尚が後生善処のために造立。
建 造 物	乗光寺大森六代之墓	S48. 10. 25	生士234-1 大森頼直が正保元年(1644年)に墓石を移転。
建 造 物	嘉慶銘宝篋印塔	S63. 12. 16	菅沼2112-2 梅林内に位置する。
建 造 物	栗の木沢の唯念名号碑	H3. 5. 1	竹之下3676-20 高さ3.8m・横幅1.5m・厚さ0.8m
建 造 物	栗の木沢の題目碑	H4. 6. 1	竹之下3677-17 高さ3.56m・横幅1.24m 厚さ:中0.42m下0.6m
建 造 物	富士山東口本宮富士浅間神社社殿	H18. 8. 24	須走126 享保3年(1718年)に再建された社殿が現存。本殿、幣殿、拜殿が一体化しているという特徴を有す。
無形民俗文化財	竹之下太鼓	S59. 12. 21	竹之下区 富士登山する道者の無事を祈ったことに端を発する。
天 然 記 念 物	湯船八幡神社の夫婦スギ	S58. 5. 1	湯船371 大:根廻7.5m・目通5.65m・樹高35m 小:根廻5.6m・目通4.26m・樹高30m・樹齢約250年
天 然 記 念 物	上野神明社のツクバネガシ	S58. 5. 1	上野178 根廻6.1m・目通5.1m・樹高20m・樹齢約300年
天 然 記 念 物	富士浅間神社のエゾヤマザクラ	S58. 5. 1	須走126 根廻2.08m・目通1.75m・樹高8m・樹齢約110年
天 然 記 念 物	富士浅間神社の根上りモミ	H3. 5. 1	須走126 根廻4.61m・目通3.07m・樹高27m・樹齢約300年
天 然 記 念 物	棚頭産神社のスギ	S63. 12. 16	棚頭714 甲:根廻6.45m・目通5.6m・樹高23m 乙:根廻6.4m・目通5.2m・樹高23m・樹齢約400年
天 然 記 念 物	用沢八幡宮の三本スギ	S63. 12. 16	用沢517 根廻10.3m・目通:甲3.4m・乙5m 丙3.5m・樹高約30m・樹齢約300年

彫	刻	坂下区十王堂地藏菩薩坐像	H21.12.16	菅沼707-1 桧・寄木造・漆箔 肉身金泥塗り、玉眼 像高：34.4cm 室町時代後期～江戸時代初期
絵	画	坂下区十王堂十王図	H21.12.16	菅沼707-1 紙本着色・紙継ぎなし 表装後補 縦：111.4～112.0cm 横：37.0～37.5cm 文化元年(1804年) 10幅全て、同一人物による作品
書跡・典籍・古文書		坂下区十王堂木食観正宝号軸	H21.12.16	菅沼707-1 絹本着書・絹継ぎなし 布表装 作者：木食観正 縦：67.9cm 横：33.8cm 作者が小山町に滞在した文政7年(1824年)頃
彫	刻	坂下区十王堂石仏	H21.12.16	菅沼707-1 17体 丸彫像・一部朱彩色・金泥彩色 像高：25.8～41.8cm 延宝8年(1680年)を遡る江戸時代初期

5 小山町文化財地名表

	遺 跡 名	時 代	種 別	所 在 地	地 目	遺 構	遺 物	文 献
1	上野奥の沢遺跡	縄文中期	散布地	上野北山	林・沢		縄文土器	
2	上野堀之内	中世	城館	上野字堀之内	境内	空堀・土塁		
3	湯船遺跡	縄文	散布地	湯船	工場		縄文土器	
4	湯船城	中世	城館	湯船字附野	山林			
5	柳島遺跡	縄文中期	散布地	柳島堀	公民館		縄文土器	
6	湯船堀之内	中世	城館	湯船字下耕地	水田			
7	藤曲屋敷	中世	城館	藤曲字宮原	宅地			
8	生土城	中世	城館	生土字城山	山林	曲輪・空堀・井戸跡		静岡県の中世城館跡
9	御園平遺跡	縄文前～後期	散布地	生土御園平	畑	列石	縄文土器	
10	御園遺跡	縄文中期	散布地	生土御園	宅地		縄文土器・石斧・石棒	静岡県史第1巻
11	用沢堀之内	中世	城館	用沢字坂本	水田			
12	一色城	中世	城館	一色島土	水田・宅地			
13	沼子遺跡	縄文	散布地	柳島字沼子	水田・畑			確認調査報告書
14	中の丸遺跡	古墳・古代	散布地	上古城中の丸	境内		土師器・須恵器	静岡県郷土研究1
15	一色遺跡	縄文	散布地	一色上大畑	水田		縄文土器	
16	岩田館	中世	城館	菅沼字菅沼	宅地			
17	打越館	中世	城館	吉久保字打越	宅地			
18	吉久保遺跡	縄文中期	散布地	吉久保	水田		縄文土器	
19	下古城(古城)	中世	城館	下古城字永塚	水田	土塁		
20	上矢台遺跡	縄文後期	散布地	竹之下上矢台	林・原野		縄文土器	静岡県史
21	竹之下堀之内	中世	城館	竹之下字堀之内	宅地			
22	竹之下屋敷(城ヶ腰)	中世	城館	竹之下字城ヶ腰	宅地	井戸跡		
23	高畑城(高畑山)	中世	城館	竹之下	山林			
24	大曲遺跡	古墳～平安	散布地	竹之下大野原	宅地			
25	ゼンコージ遺跡	古代	散布地	竹之下善光寺	山林		土器	
26	新見堂遺跡	縄文晩期	散布地	竹之下新見堂	山林		縄文土器・磨製石斧	
27	横山遺跡	古墳後期～中世	集落	竹之下上横山	高校	住居跡・櫓列	土師器・須恵器	横山遺跡概報
28	上横山遺跡	奈良・平安	散布地・集落	竹之下上横山	工場		土師器・須恵器・鉄製品	上横山遺跡報告書
29	桑木沢田遺跡	平安	集落	桑木	宅地	住居跡	陶磁器・構築礎	沢田遺跡確認調査報告書
30	古瀧遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
31	クラモンザ遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
32	新柴堀之内	中世	城館	新柴字堀之内	宅地	井戸跡		
33	ワデ遺跡	縄文後期	散布地	桑木ワデ	田・宅地		縄文土器	
34	向桑木遺跡	縄文中期	散布地	桑木一ノ沢	山林		縄文土器	
35	池の沢遺跡	弥生	散布地	桑木池の沢			弥生土器	
36	八重山屋敷	中世	城館	小山字八重山	宅地			
37	足柄城	中世	城館	竹之下峠	山林	曲輪・空堀・井戸跡・土塁		調査報告書
38	足柄峠I遺跡	縄文中期・後期	散布地	竹之下峠	山林		縄文土器	
39	足柄峠II遺跡	古墳・古代	散布地	竹之下峠	山林		土師器・須恵器	
40	尾立城	中世	城館	生土	山林	堅土塁		調査報告書
41	南ノ原遺跡	奈良	集落	桑木字上の原	工場	住居跡・土坑	土師器・須恵器・鉄製品	調査報告書
42	富士山	特別名勝・史跡						

6 図書館



所在地	小山町阿多野130
建物面積	951.23㎡
蔵書数	104,951冊
開設	平成4年4月
職員	4名
電話番号	76-4270

町民の生涯学習の拠点として、常に身近にあって日々の暮らしに何らかの形で役に立つ図書館を目指し、さらに資料情報センターとしての役割を持ち、心豊かな人づくりをバックアップする図書館としての運営に努める。

(1) 資料の収集と整理

図書資料の充実を図るため、年間図書購入計画、寄贈図書の受け入れなどでその達成に努力する。

① 新刊本の選書等

新刊案内等により選書し、各分類別の平均化に配慮する。

利用者ニーズに応えるため、リクエストによる収集を行う。

② 郷土資料等の収集と保存管理

官公庁及び各種団体、企業、個人等が発行した郷土資料刊行物の収集と保存。

地域発行新聞・雑誌等を製本保存し、資料の蓄積に努める。

富士のある町として積極的に富士山資料の蓄積に努める。

③ 児童書等寄贈本の受け入れ整理

利用者からの寄贈本の受け入れを行う。

分類及び付帯装備と資料情報の電算入力作業。

④ 視聴覚資料の収集

AV資料の収集。

⑤ 廃棄図書の選択と整理事務

傷んだ本等を選択し除籍手続きをする。

ふれあい広場に合わせ、古雑誌市を開催する。

⑥ 蔵書点検・管理事務

年1回図書の移動、不明図書等把握のための点検作業を行い、蔵書管理に努める。

(2) 図書館活動・館内サービスの充実

資料情報センター及び生涯学習の拠点として、図書館資料を媒体とした活動を展開する。

① レファレンス等、利用者へのサービスに努める。

リクエストには、購入又は図書館の相互貸借を活用する。＝随時

② 読書グループ等の育成と援助

図書館ファンクラブ＝夏休み期間 定員20名(小学校3～6年生対象)

- ③ 絵本・紙芝居等の読み聞かせ
お話しコーナー＝館内利用者対象
- ④ 図書館ブックスタートの実施
メッセージを伝えながら絵本を手渡す、5・6か月児とその保護者を対象にした
“絵本を介しての子育て支援”を年6回実施
- ⑤ 図書館講座の実施
児童講演会、古典文学講座、図書館教養講座
- ⑥ 移動文庫、団体貸し出し
役場本庁と2支所に移動文庫を設置し、利用サービスに努める。
老人ホーム・幼稚園・児童館・学校等への団体貸し出しを奨励する。
- ⑦ ボランティア活動の育成
図書館活動協力員の募集＝活動通年 現在31名・絵本の読み聞かせと図書館整理
作業・ブックスタート
- ⑧ 図書館だよりの発行
毎月1回発行し図書館情報の広報に努める＝部数270枚
- ⑨ 本のリサイクル市の開催
家庭における不用本のリサイクル市を行ない、町民サービスの向上を図る。
- ⑩ 乳幼児・児童本(絵本等)の選定目録作成(よんでみて!この1冊)
館内及びPR用目録として200部作成し幼稚園、保育園、学校に配布。
- ⑪ 電算システムの運用
図書館電算システムの運用により、利用者用タッチパネルで検索が自由にできる。
- ⑫ 開館時間の延長
毎週金・土曜日は、利用者の利便をはかるために開館時間を午後7時まで実施する。
(夏休み期間中は毎週金・土曜日以外は午後6時まで実施する。)
- ⑬ 臨時学習室の開設
夏休み全日、学習者の利便をはかるために開館時間、臨時学習室を別室に随時
設ける。

(3) その他

- ① 図書館を利用したいと思っている身体障害者等の図書館利用、弱者の方々への
サービスの提供について積極的に機材を用意し利用に努める。

7 自主文化関係事業

いつきても何か楽しい文化会館を目標に、感動を与える事業の実施をすすめる。

(1) 文化活動を通じて、生涯学習を推進する

- ① 会館利用者、事業回数の増加
- ② いつきても何か楽しい会館づくりの推進
- ③ 会館ロビーの活用等、町民文化活動への援助
- ④ 幅広い年代で楽しめる自主文化事業の実施

内 容	開催日	内 容	開催日
文化講演会 講師 渡部 陽一 氏	5月18日(水)	和League 小山町公演(太鼓&舞踊)	10月16日(日)
スタインウェイを 弾いてみよう	6月25・26日 (土・日)	中学校芸術鑑賞会 ミュージカル「幸せを売る男」	11月22日(火)
小学校芸術鑑賞会 演劇「ズッコケ大図鑑」	6月30日(木)	ハンドベルコンサート	12月
ドラムストラック	7月27日(水)	スタインウェイを 弾いてみよう	未定
スタインウェイを 弾いてみよう	8月6日(土)	人形劇フェスティバル	1月
スタインウェイを 弾いてみよう	9月4日(日)	菜の花音楽館	2月
スパニッシュコネクション	9月23日(金)	わくわく映画館	2月

(2) 入場者の安全を確保するための、管理の充実

(3) 委託事業内容を点検し効率的な執行の確保

8 社会体育

(1) 体育施設等の有効活用

平成23年度からNPO法人小山町体育協会を体育施設の指定管理者として管理しており、総合型地域スポーツクラブも発足したため、体育施設等を活用し、両組織との連携により、各種教室や大会等を開催し、社会体育の充実を図ります。

(2) 体育関係団体との連携

体育協会や地区体育振興会との連携により、地域に根ざしたスポーツ活動を展開し、生涯スポーツの振興を図る。

(3) 体育指導委員の派遣

各種団体の要請により、体育指導委員を派遣し、生涯スポーツの振興を図る。

(4) 体育指導委員

任期 平成24年3月31日

職 名	氏 名	職 名	氏 名
委員長	関 富 芳	委 員	勝 亦 淳
副委員長	眞 田 拓 史	〃	田 代 哲 也
委 員	山 本 章 子	〃	高 橋 健太朗
〃	長谷川 和 之	〃	村 上 晴 美
〃	杉 浦 紀 子	〃	塚 原 昌 代
〃	岩 田 勝 彦	〃	仲 井 秀 弥
〃	武 藤 淳 一	〃	望 月 一 馬
〃	阿 部 良 太		

(5) 体育施設の開放

学校体育施設開放 年間(有料)
 町民プール開放(無料) 7月20日(水)～8月30日(火) 金時公園内
 夜間照明施設開放(有料) 4月 1日(火)～3月31日(土) 北郷・小山中学校内及び
 須走小学校内(節電のため解放中止：解放未定)
 総合体育館無料開放(無料) 毎月第4金曜日の午後7時～午後9時

(6) 各種大会の開催

・教委関係

レクスボ祭 スポーツ少年団交流大会

・体協関係

陸上競技記録会(御殿場市体協と共催) 町民スポーツ祭 富士マラソンフェスタ
 町内一周駅伝大会及び周回コース駅伝 パークゴルフ大会 グラウンドゴルフ大会
 ハイキング

(7) 各種教室、講習会の開催

体育指導委員：ファミリーバドミントン講習会

総合型地域スポーツクラブ：少林寺拳法教室、弓道教室、一輪車教室、親子体操教室、リアル野球盤教室、ランニング教室、自然体験教室、空手教室、バドミントン教室、ゴルフ教室、バレーボール教室、卓球教室、健康体操教室、柔道教室

(8) その他

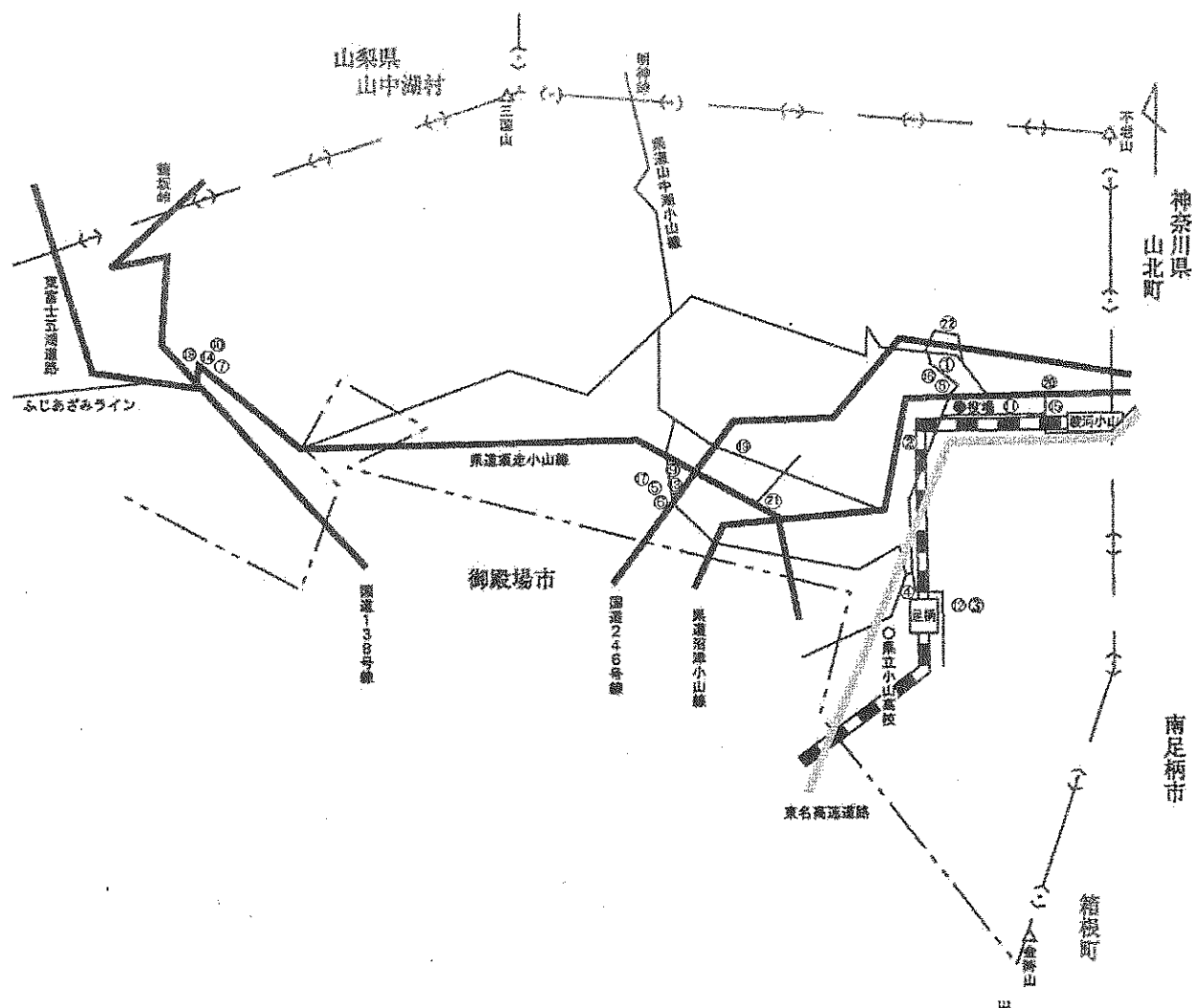
駿東地区レクスボ大会 しずおかスポーツフェスティバル 国民体育大会等参加奨励
各種団体、大会への助成

(9) 小山町体育施設一覧

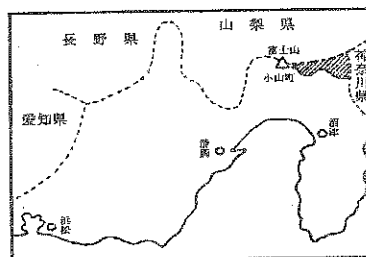
総合体育館	所在地	小山町阿多野125
	敷地面積	27,214.00㎡
	建物面積	1階 2,587.44㎡ 2階 976.27㎡ アリーナ 34m×54m 観覧席 288席
	延床面積	3,563.71㎡
	開設	平成8年4月
	電話番号	76-5708
多目的広場	所在地	小山町吉久保40-1
	敷地面積	17,514㎡
	用途	400mトラック・サッカー・ ソフトボール・ゲートボール
	規模	屋外便所 70.0㎡ シェルター 48.0㎡
	駐車場収容台数	124台
	開設	平成6年6月
小山球場	所在地	小山町阿多野35
	敷地面積	16,680㎡
	建物面積	535.84㎡ (管理棟 497.6㎡) (ダックアウト 19.12㎡×2) 観客席 780席
	グラウンド	両翼94m・中堅121.9m バックストップ 18.6m
	開設	平成6年6月
小山道場	所在地	小山町吉久保5-1
	敷地面積	427.67㎡
	建物面積	157.41㎡
	延床面積	167.13㎡
	開設	平成9年3月
弓道場	所在地	小山町阿多野136-8
	敷地面積	1,285㎡
	建物面積	165.02㎡ (射場 125.87㎡) (的場 39.15㎡)
	開設	平成6年4月

町民プール	所在地	小山町中島213-1
	敷地面積	1,100㎡
	本プール	25m×15m
	幼児用プール	10m×10m
	開設	昭和45年9月
小山地区児童屋内体育施設 (小山中に併設)	所在地	小山町藤曲144-10
	建物面積	1,478.61㎡
	開設	昭和57年3月
菅沼地区児童屋内体育施設 (明倫小に併設)	所在地	小山町菅沼630-6
	建物面積	1,122.66㎡
	開設	昭和53年3月
用沢地区児童屋内体育施設 (北郷小に併設)	所在地	小山町用沢604-7
	建物面積	1,126.26㎡
	開設	昭和56年3月
小山地区夜間照明施設	所在地	小山町藤曲144-10
	照明灯	8基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	平成10年4月
北郷地区夜間照明施設	所在地	小山町用沢351-2
	照明灯	6基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	昭和57年4月
須走地区夜間照明施設	所在地	小山町須走70-18
	照明灯	6基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	平成13年4月
小山町パークゴルフ場	所在地	小山町吉久保221
	面積	8,739㎡
	コース全長	804m
	A(ふじ桜)コース	9ホール パー33
	B(菜の花)コース	9ホール パー33
	開設	平成15年4月
	電話番号	090-4408-5386

V 小山町教育機関等配置図



- | | |
|--|------------|
| ① 成美小学校
成美小学校放課後児童クラブ | ⑪ 駿河小山幼稚園 |
| ② 明倫小学校
菅沼地区児童屋内体育施設
明倫小学校放課後児童クラブ | ⑫ 足柄幼稚園 |
| ③ 足柄小学校 | ⑬ 北郷幼稚園 |
| ④ 足柄小学校放課後児童クラブ | ⑭ 須走幼稚園 |
| ⑤ 北郷小学校
用沢地区児童屋内体育施設 | ⑮ いきど保育園 |
| ⑥ 北郷小学校放課後児童クラブ | ⑯ すがぬま保育園 |
| ⑦ 須走小学校
須走小学校放課後児童クラブ | ⑰ きたごう保育園 |
| ⑧ 小山中学校
小山地区児童屋内体育施設
夜間照明施設 | ⑱ すばしり保育園 |
| ⑨ 北郷中学校
夜間照明施設 | ⑲ 生涯学習センター |
| ⑩ 須走中学校 | 総合文化会館 |
| | 図書館 |
| | 総合体育館 |
| | 多目的広場 |
| | 小山球場 |
| | 弓道場 |
| | 小山道場 |
| | ⑳ 地域資料室 |
| | ㉑ パークゴルフ場 |
| | ㉒ 町民プール |



面積 136.13km²

人口 20,403人

世帯数 7,447世帯

(H23.4.1)

小 山 町 教 育 委 員 会

学 校 教 育 課 〒410-1395 静岡県駿東郡小山町藤曲57番地の2
TEL : 0550-76-6122(直通)
FAX : 0550-76-2795

生 涯 学 習 課 〒410-1321 静岡県駿東郡小山町阿多野130番地
TEL : 0550-76-5700(直通)
FAX : 0550-76-3290

平成23年度

小 山 町 の 教 育

発 行 平 成 23 年 8 月

発 行 者 小山町教育委員会

題 字 岩 田 明 倫

